

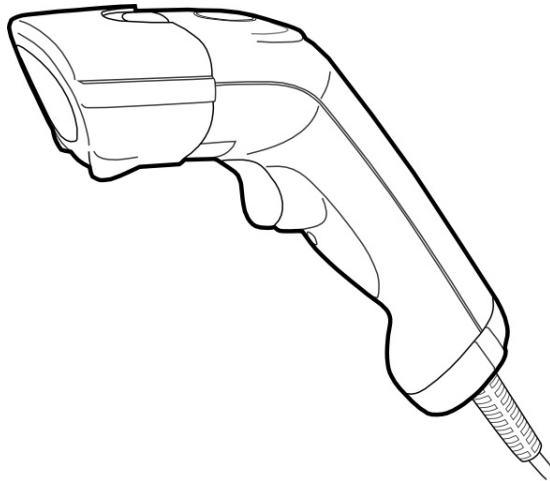
2次元バーコードリーダー

AC-2D202K2B

取扱説明書

Ver.A11

はじめにお読み下さい



株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

- ・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- ・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

改訂履歴	4
おことわり／取り扱い上の注意	5
第1章 はじめに	8
第2章 セットアップ	10
第3章 使い方	11
第4章 よく使う設定	13
第5章 メンテナンス	14
第6章 困ったときは	15
第7章 仕様	16
第8章 設定の方法	18
第9章 カスタムデフォルト設定	19
・ 9-1 カスタムデフォルトを保存する	19
・ 9-2 カスタムデフォルトを起動する	19
・ 9-3 初期設定	19
第10章 インターフェース設定	20
・ 10-1 USB HIDキーボードインターフェース	21
・ 10-2 USB HID	23
・ 10-3 USB シリアルインターフェース (USBバーチャルCOM)	24
第11章 入力・出力設定	21
・ 11-1 ブザー	22
・ 11-2 通知LED	28
・ 11-3 読取成功ディレイ	29
・ 11-4 トリガー	30
・ 11-5 プレゼンテーション	36
・ 11-6 照明ライトとエイマー	40
・ 11-7 低品質コード / No Read / 白黒反転	41
・ 11-8 ワーキングオリエンテーション	41
第12章 送信データ設定	43
・ 12-1 プリフィックス/サフィックスの設定	43
・ 12-2 制御文字の送信	45
・ 12-3 送信データのディレイ	46
第13章 データフォーマット設定 (読取データの編集)	48
・ 13-1 データフォーマットの設定方法	48
・ 13-2 データフォーマットエディタコマンド	53
第14章 バーコードの読取設定	61
・ 14-1 すべてのシンボル	61
・ 14-2 読取桁数の設定	61
・ 14-3 Codabar (NW7)	62
・ 14-4 Code 39	64
・ 14-5 Interleaved 2 of5(ITF)	67
・ 14-6 NEC 2 of 5	68
・ 14-7 Code 93	69

・ 14-8	Straight 2 of 5 Industrial(3バー スタート/ストップ)	70
・ 14-9	Straight 2 of 5 IATA (2バー スタート/ストップ)	71
・ 14-10	Matrix 2 of 5	72
・ 14-11	Code 11	73
・ 14-12	Code 128	74
・ 14-13	GS1-128	76
・ 14-14	UPC-A	77
・ 14-15	UPC-E	76
・ 14-16	EAN-13/JAB-13	82
・ 14-17	EAN-8/JAB-8	84
・ 14-18	MSI	86
・ 14-19	GS1データバー標準型 (オムニディレクショナル)	88
・ 14-20	GS1データバー限定型 (リミテッド)	89
・ 14-21	GS1データバー拡張型 (エクспанデッド)	90
・ 14-22	Codablock A	91
・ 14-23	Codablock F	93
・ 14-24	PDF417	85
・ 14-25	MicroPDF417	94
・ 14-26	GS1合成シンボル (GS1 Composite)	95
・ 14-27	GS1エミュレーション	96
・ 14-28	QRコード	97
・ 14-29	DataMatrixl	99
・ 14-30	Maxi Code	100
・ 14-31	Aztec Code	101
・ 14-32	中国郵便漢信コード (Chinese Sensible, Han Xin Code)	103
・ 14-33	2次元郵便コード	104
・ 14-34	1次元郵便コード 中国郵便コード (香港 2 of 5)	108
・ 14-35	1次元郵便コード 韓国郵便コード	109
第 15 章	ユーティリティ	110
第 16 章	シリアルプログラミングコマンド	112
第 17 章	修理と保証	130
付録 A	シンボル一覧表	131
付録 B	ASCII コード表、下位 ASCII コード表	133
付録 C	ISO 2022/USO 646 キャラクタ変換	138
付録 D	GS1 データ編集設定	140
付録 E	Unicode キーナンバー	150
付録 F	サンプルバーコード	151
付録 G	英数メニュー	153

改訂履歴

Ver.A	初版発行	
Ver.A2	修正	目次、第3章 誤字修正
Ver.A3	修正	11-4-2 シリアルトリガーモード 誤字修正
	修正	14-14 UPC-A から EAN-13/JAN-13 変換 (変換する、しないが逆になっていたのを修正)
	修正	16-8 シリアルプログラミングコマンド UPC-A から EAN-13/JAN-13 変換 (同上)
	修正	12-2 制御文字の送信 説明を追記、修正
	修正	付録 B ASCII コード表 キーボードコントロール+ASCII(CTRL+X)モード 表記修正
Ver.A4	追記	付録 D GS1 データ編集設定 設定例を追記
Ver.A5	追記	11-5-3 プレゼンテーション感度のクイックメニューを追記
	修正	第16章 誤字修正
Ver.A6	追記	11-5-1~11-5-3 プレゼンテーションモードについて説明を追記
Ver.A7	追記	3-2 バーコードの読み取り方 メモ センタリングのクイックメニューを追記
	修正	11-4-6 センタリング (マニュアルトリガー時) 誤記修正、説明を修正、追記
	追記	11-4-6-2 センタリングのクイックメニュー (マニュアルトリガー時) を追記
	修正	11-5-7 センタリング (プレゼンテーション時) 説明を修正
	修正	付録 D D-1 キャラクタの設定方法 誤記修正 D-2 GS1 編集設定メニュー 誤記修正
Ver.A8	追記	14-26 GS1 合成シンボル (GS1 Composite) GS1 合成シンボル 読取桁数
	追記	14-27 GS1 エミュレーション (GS1 合成シンボル 読取桁数を有効にするには GS1 エミュレーション無しに設定することを追記)
Ver.A9	修正	当社出荷時設定(カスタムデフォルト)のブザー音程 読取成功時を 2400Hz から 2731Hz に変更 9-3 初期設定の設定メニューを変更 第15章 初期設定のコマンドを変更 (備考) 製品同梱のかんたんガイド Ver.B までは従来の初期設定メニューを表示しています。
	追記	11-1-3-3 ブザー音程 読取成功時に中高(2731Hz)を追記
Ver.A10	修正	14-8 Straight 2 of 5 Industrial 読取許可と禁止のメニューが逆になっていたのを修正
Ver.A11	修正	11-4-6-2 センタリングのクイックメニュー (マニュアルトリガー時) 設定メニューを修正

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みにになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品はすべてのUSBを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべてのUSBを用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USBを用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。
- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。



取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

警告表示の意味







 危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 警告	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

絵記号の意味

 警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



危険

-  本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。目に障害を与える恐れがあります。
-  本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。
-  プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘアピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。
-  直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

**警告**

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。

付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。

火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。

そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

**注意**

パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。

人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべてCD-ROMなど外部の記憶装置にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のあるところ→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。

条例については、各地地方自治体にお問合せ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
- (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、家庭環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**読み取らないバーコードの注意**

- 日本語データの 2 次元バーコード(QR Code など)は日本語で出力しません。
- 日本語データを出力するにはお客様にてシリアル通信(RS-232)の開発やシステムが必要です。

第 1 章 はじめに

1-1 本書について

本書では、2次元バーコードリーダーAC-2D202K2Bの操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴

AC-2D202K2B（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

- ボタンを押すだけの簡単な操作で、バーコードの読み取りが可能
- 1次元バーコード、2次元バーコード、郵便コードの読み取りに対応
- 高性能イメージャー(光学エンジン)を搭載
- 小型・軽量で使いやすいデザイン
- 丈夫で長持ちする設計
- USB HID キーボードインターフェース対応（USB バーチャル COM も対応）

用語について 以下、本書では用語を略称や通称で表記している場合があります。

用語	略称
バーコードシンボル	バーコード、シンボル
1次元バーコード	1次元コード、1D、1Dコード、
2次元バーコード	2次元コード、2D、2Dコード

1-3 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

付属品

- スキャナ本体
- 専用 USB ケーブル
- かんたんガイド

ご案内 本書の印刷物は付属していません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

別売オプション

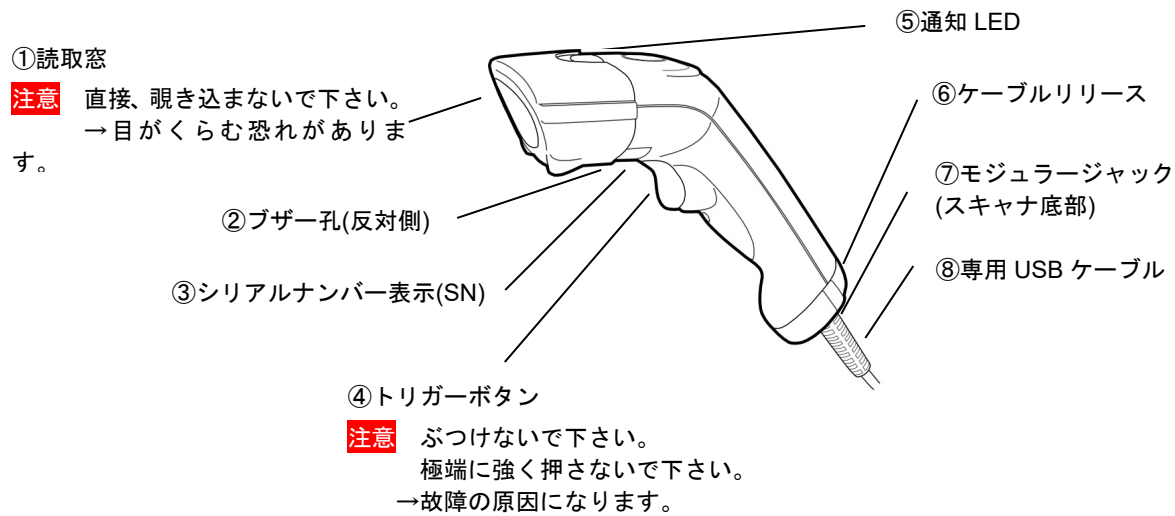
- ハンドフリースタンド

1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン

ご注意 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

1-5 各部の名称



①	読取窓	白色照明 LED とエイマー（赤色照準）を照射する。
②	ブザー孔	ブザー音が鳴る。
③	シリアルナンバー表示	本体のシリアルナンバー（製造番号）
④	トリガーボタン	バーコードを読み取る（読取窓点灯）
⑤	通知 LED	緑色の点灯：読取成功。
⑥	ケーブルリリース	ケーブルを外す孔。クリップなどを挿しこみ、押し当てながらケーブルを引くとケーブルが外れます。
⑦	モジュージャック	スキャナ底部のコネクタジャック。専用 USB ケーブルのモジュラーコネクタ側を接続する。
⑧	専用 USB ケーブル	専用 USB ケーブル。

第2章 セットアップ

2-1 製品の取り出し

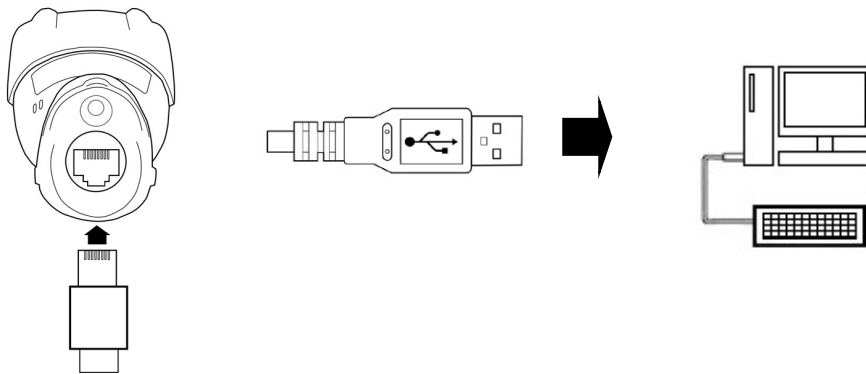
箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- 1) 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- 2) 不足しているものがないか確認する。
- 3) 保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2 スキャナのセットアップ

- 1) スキャナ底部のケーブルジャックに専用 USB ケーブルのモジュラーコネクタを接続して下さい。
- 2) パソコンの USB ポートに本製品の USB ケーブルを接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。

注意 パソコン本体の USB に接続してください。USB ハブは動作しない場合があります。



第3章 使い方

3-1 ご使用のながれ

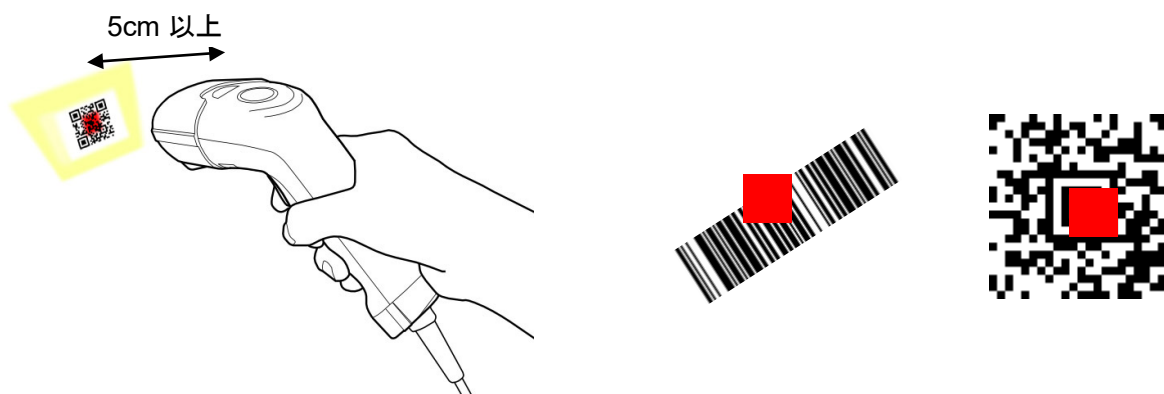
- 1) 第2章 セットアップ を読み、スキャナとパソコンを接続して下さい。
- 2) パソコンのソフトを立ち上げ、バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) スキャナでバーコードを読み取って下さい。バーコードを読み取るごとにデータを転送します。「付録 F サンプルバーコード」などを読み取ってお試し下さい。

ご案内 はじめて使うスキャナは、第4章 よく使う設定 を設定していただく事をおすすめします。

3-2 バーコードの読み取り方

手持ちでバーコード読み取り（マニュアルトリガーモード）

- 1) スキャナのトリガーボタンを押して下さい。読取窓のエイマー（点状の赤色照準光）と照明ライトが点灯します。
（図はイメージです。照明ライトは白色です）
- 2) エイマーをバーコードにかざすと読み取ります。又、360度どの方向でも読みます。



メモ 小さなバーコード

→GS1合成シンボルは2Dコード側(上半分)にエイマーを当てると読みやすいです。その他も上側が読みやすいです。



メモ 長いバーコード

→スキャナをバーコードから離し、エイマーを上の方に当てると読みやすいです。



メモ 第11章 11-4-6-2 センタリングのクイックメニュー（マニュアルトリガー時）を設定すると、エイマーを照射した部分のみを読みやすくなります。例えば、縦に並んだバーコードから目的のバーコードを読みやすくなります。

ハンドフリースタンドでバーコード読み取り（プレゼンテーションモード）

- 1) スキャナで第4章 よく使う設定 の「プレゼンテーション 通常」の設定用バーコードメニューを読み取って下さい。
- 2) スキャナをスタンドに乗せ、読取窓の前にバーコードをかざすと自動で読み取ります。



ハンドフリースタンド（別売品）
支柱を曲げてお好みの角度に変えてください

3-3 ブザーと LED の意味

スキャナの動作はブザーと LED で通知します。意味は通りです。

機能、操作	ブザー	通知 LED
PC とケーブル接続する（電源オン）	上昇メロディー	緑点灯→消灯
バーコード読み取り 読取成功時	1 回の短音（ピ）	緑点灯→消灯
バーコード読み取り 読取失敗時 （設定を間違ったとき、など）	1 回の長い低音（ジー）	無し
メモ 単に読めなかった場合、音は鳴りません		
カスタムデフォルトの設定中	-	緑点滅

第4章 よく使う設定

はじめて使うときに下記の設定を行うことをおすすめします。下記の設定専用バーコードメニュー（以下、設定メニュー）を読み取ると、スキャナの動作が設定されます。スキャナの電源を切った後も、設定はスキャナに保存されています。

4-1 はじめに設定して下さい

(1) USB HID キーボードインターフェース 日本キーボード配列 (PC)

バーコードデータの+や () などの記号を日本のパソコンで正しく送信する設定です。

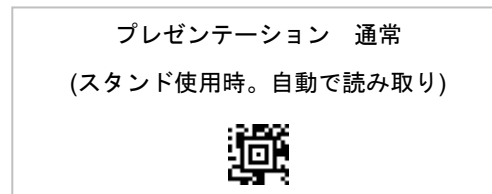
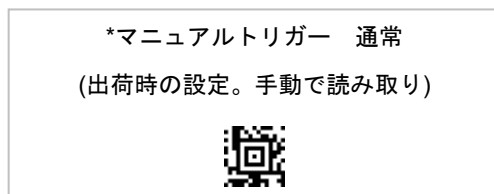


(2) 改行の設定 (お選び下さい)

読み取ったバーコードデータの後に改行や Tab(タブ)を追加する設定です。

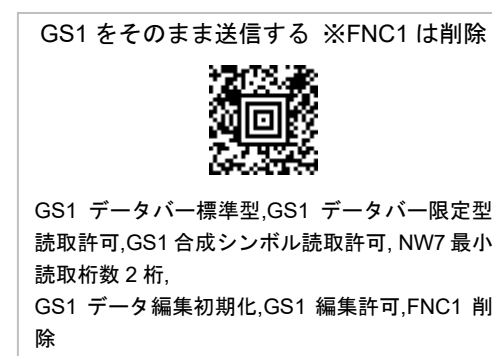
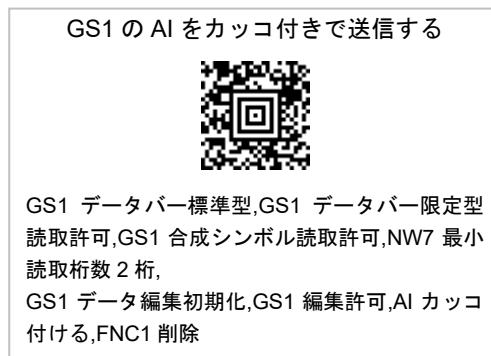


4-2 トリガーモードの設定 (必要なら設定して下さい)



4-3 GS1 バーコードの編集 (必要なら設定して下さい)

GS1-128、GS1 データバー標準型、GS1 データバー限定型、GS1 合成シンボルなどの設定です。



FNC1 も必要なら下記も設定して下さい

GS1 データ編集初期化(編集禁止)



第5章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

5-1 読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ **強くこすらない**
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

5-2 コネクタ・ケーブルの点検

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

メモ スキャナ本体側のケーブルの外し方

スキャナからケーブルを外すときは次の手順で外して下さい。

- 1) スキャナ本体後ろ側のケーブルリリース（小さな穴）にクリップなどを差し込んで下さい。
- 2) クリップでモジュージャックの返しを押しながらゆっくりケーブルを引き抜いて下さい。

- 注意**
- ・ 本体を分解しないで下さい。
→保証を受けられなくなります。
 - ・ わからないときは無理に行わないで下さい
→破損します。

第6章 困ったときは

Q:設定の方法を知りたい

A:第8章 設定の方法 をお読み下さい。

Q:JAN-13(13桁)を12桁で転送してしまう 先頭0が出ない

A: そのバーコードの1桁目が0の場合、第14章 14-14 UPC-A から EAN-13/JAN-13 変換 変換する を読み取って下さい。

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ*を転送したい

A: 第14章 14-21 Code 39 スタート/ストップ 送信する を読み取って下さい。

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタAを転送したい

A: 第14章 14-3 Codabar / NW7 スタート/ストップ 送信する を読み取って下さい。

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A: 第4章 よく使う設定 の設定メニューで設定して下さい。

詳しくは第12章 12-1 プリフィックス/サフィックスの設定 をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の0が消える

A: Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A: パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[半角英数]を設定して下さい。

または[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい。※パソコンにより設定は異なります。

言語バーの[ツール]アイコンをクリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの「あ」(「A」)をクリック→[直接入力]を選択する。

第7章 仕様

7-1 仕様表

読み取り 1次元バーコード	Codabar (NW7), Code 11, Code 128, Code 39, Code 32(PARAF), Code 93 and 93i, EAN/JAN-13, EAN/JAN 8, UPC-A, UPC E, UPC-A/EAN-13 with Extended coupon Code, Coupon GS1, Interleaved 2 of 5, Code 2 of 5(Straight 2 of 5 Industrial), IATA Code 2 of 5, Matrix 2 of 5, MSI, GS1 データバー (標準型, 限定型, 拡張型), EAN-UCC Emulation
読み取り 2次元バーコード	Codablock A, Codablock F, PDF417, MicroPDF417, GS1 合成シンボル QR Code, Data Matrix, A MaxiCode, ztec Code, Chinese Sensible(Han Xin) code
読み取り郵便コード	日本郵便コード、各国郵便コード
スキャンエンジン	受光:CMOS イメージセンサ 640 x 480pix 光源:白色 LED(照明) 赤色 LED(エイマー) スキャン速度:30 フレーム/秒 読取距離:50-250mm(Code 39, PCS0.9, 細バー0.4mm) スキャン角度: チルト 360°、ピッチ±45°、スキュー±45° PCS:0.3 以上
電力	入力 DC 5V±5% 待機電流 (Vcc =5.0V) 0.5mA 以下、動作電流 (Vcc =5.0V) 250mA 以下
インターフェース	USB HID キーボード、USB バーチャル COM ケーブル長 1.8m
トリガー	1
通知	LED:緑(正読)、ブザー
動作温度/湿度	-10 °C~40 °C / 95%RH 以下(結露なきこと)
周囲照度	100,000lux
衝撃	1.2m の高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作
重量	125g(ケーブル含まず)
EMI	FCC class B / CE
法令等	RoHS
動作確認 OS	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7, Windows XP (各 32bit,64bit)

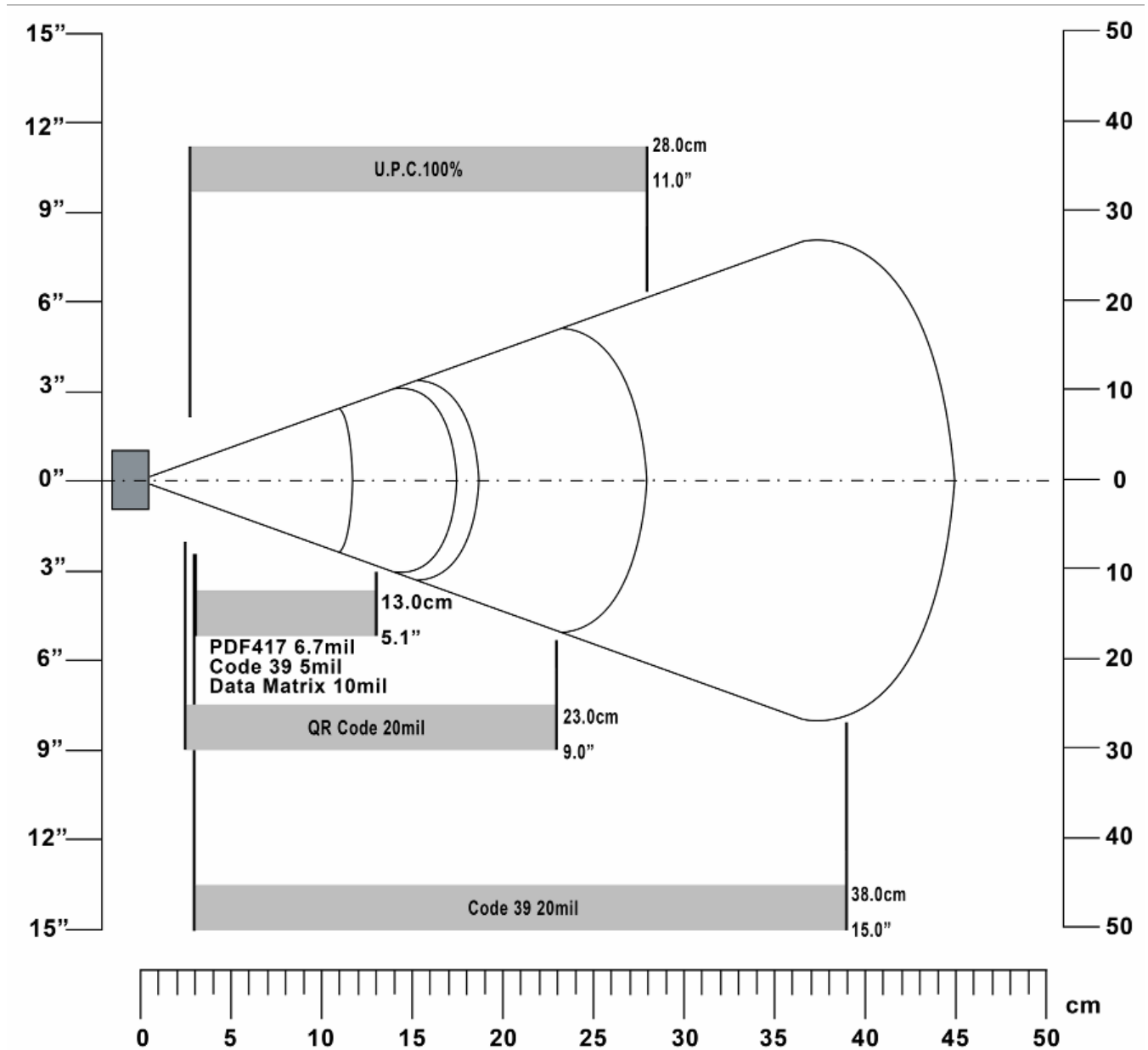
注意 バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

注意 すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

注意 Codabar (NW7) の設定可能な最小読取桁数は 2 桁です (出荷時の最小読取桁数は 4 桁)

注意 USB シリアルインターフェースを使用するには、専用ドライバが必要です。また、お客様にてシリアル通信 (RS-232) の技術・開発が必要です。USB シリアルドライバは Windows 2000 非対応です。

7-2 読取範囲



シンボル	分解能	最短距離	最長距離
UPC	100%(0.33mm)	5.5cm	28.0cm
Code 39	0.127mm	6.1cm	13.0m
	0.51mm	6.0cm	38.0cm
PDF417	0.17mm	6.0cm	12.5cm
Data Matrix	0.254mm	6.0cm	13.0cm
PDF417	0.51mm	5.0cm	23.0cm

注意 表の値はシンボルの大きさ、印刷品質、周囲の環境によって変わりますので保証されるものではありません。

第 8 章 設定の方法

設定方法

スキャナで設定メニューを読み取って設定を変更します。

設定はスキャナ本体の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

基本的な設定

許可（オン）、禁止（オフ）、動作の選択など、基本的な設定は直接その設定メニュー読み取ります。

英数メニューを使う設定

いくつかの設定メニューは、そのメニューに続けて「付録 G 英数メニュー」の「0~9、A~F」のメニューを読み取り、最後に「保存」を読み取ります。英数メニューを読み取り間違ったときは「中止」を読み取ります。

具体的な設定手順は、各説明を参照してください。

メモ 本書での設定メニューは 1D コード版と 2D コード版で表示したのがあります。どちらも説明が同じなら設定内容は同じです。単にページ上での配置などのため使い分けています。

メモ USB シリアルインターフェースの設定時、ホストからコマンドを送信して設定を変更することができます。詳しくは第 16 章 シリアルプログラミングコマンドを参照して下さい（お客様にてプログラミングが必要です）。

第9章 カスタムデフォルト設定

9-1 カスタムデフォルトを保存する

*印は出荷時設定

メモ カスタムデフォルトは設定しなくてもご使用いただけます。

カスタムデフォルトはユーザーが指定するスキャナの初期設定です。設定するには、カスタムデフォルト設定開始、カスタムデフォルトに設定したい設定メニュー、カスタムデフォルト保存の順で読み取ります。



カスタムデフォルト設定開始



カスタムデフォルト保存

メモ 保存したら「9-2 カスタムデフォルト起動」を読み取って下さい。保存しただけでは設定が反映しません。

例 例1. ご購入時は 第14章「Codabar (NW7)」のスタート/ストップ (A,B,C,D) を「送信しない」です。

カスタムデフォルトに「送信する」を保存する場合、次の順で設定メニューを読み取ります。

カスタムデフォルト設定→Codabar (NW7) スタート/ストップ 送信する→カスタムデフォルト保存

例2. ご購入時は 第12章「プリフィックス」(データの前に追加するキャラクタ)は無しです。

カスタムデフォルトに「プリフィックス」の「A」を保存する場合、次の順で設定メニューを読み取ります。

カスタムデフォルト設定→プリフィックス追加→(付録G 英数メニュー)9,9,4,1,保存→カスタムデフォルト保存

9-2 カスタムデフォルトを起動する

スキャナをカスタムデフォルトに設定するにはカスタムデフォルトを読み取って下さい。



*カスタムデフォルト起動

9-3 初期設定

スキャナを初期設定(ご購入時の設定)に戻すには設定メニュー「初期設定」を読み取って下さい。

お客様が設定したカスタムデフォルトは削除されます。



初期設定

メモ この初期設定は当社のカスタムデフォルト保存とその他の設定を行います。初期設定の内容とカスタムデフォルトの削除については第15章 ユーティリティ カスタムデフォルトの削除の説明を参照して下さい。

メモ 初期設定の設定メニューを変更しました。当社出荷時の設定(カスタムデフォルト)のブザー音程 読取成功時の設定を変更した為。改訂履歴を参照して下さい。(備考)製品同梱のかんたんガイド Ver.B までは従来の初期設定メニューを表示していません。

第 10 章 インターフェース設定

インターフェース設定

10-1 USB HIDキーボードインターフェース

*印は出荷時設定

10-1-1 USB キーボード配列

この設定で、スキャナはUSB HIDキーボードインターフェースになります。パソコンはスキャナをキーボードとして認識します。スキャナは読み取りデータをキーボードデータとしてパソコンに送信します。

日本のパソコン（Windows日本語版）に接続するなら「日本キーボード配列(PC)」を設定して下さい。バーコードデータの+や（ ）などの記号を正しく送信するようになります。

出荷時の設定はUSキーボード配列(PC)（アメリカのキーボード配列）です。



TERMD124.

*US キーボード配列(PC)



TERMD125.

US キーボード配列(Mac)



TERMD134.

日本キーボード配列(PC)

インターフェース設定

10-1 USB HIDキーボードインターフェース（続き）

*印は出荷時設定

10-1-2 英大文字小文字の変換

バーコードデータ中の英文字をすべて大文字かすべて小文字に強制的に変換します。



10-1-3 制御文字を文字で送信

許可は印刷不可な ASCII 制御文字（コントロールキャラクタ、ASCII コード表 00~1F）を通常の文字として送信します。バーコードデータ内の制御文字も、スキャナに設定した制御文字も文字として送信します。

例 ASCII の 0D は文字[CR]を送信します。ASCII の 09 は文字[HT]を送信します。

注意 制御文字は本来何らかの機能があります。文字で送信するとその機能がはたらかません。そのため、この設定はテストや確認のために使用して下さい。

メモ Control+ASCII モードはこの設定を上書きします。



インターフェース設定

10-1 USB HIDキーボードインターフェース（続き）

*印は出荷時設定

10-1-4 キーボード動作変更（Keyboard Modifiers）

10-1-4-1 Control+Xモード

メモ お使いのシステムが特に要求していなければ、この設定は必要ありません。

WindowsモードのControl+Xモード 許可は、ASCII制御文字00-1FをCtrlとキーの組み合わせで送信します（Ctrl+1キー）。通常はWindowsモードを推奨しますが、旧来のDOSモードもあります。

Windowsモード プリフィックスサフィックス無しは読み取りデータ中のASCII制御文字00-1FをCtrlとキーの組み合わせで送信しますが、プリフィックスとサフィックスの制御文字は送信しません。



KBDCAS0.

Windows モードの Control+X モード 許可



KBDCAS2.

*Control+X モード 禁止



KBDCAS1.

DOS モードの Control+X モード 許可



KBDCAS3.

Windows モード プリフィックスサフィックス無し

10-1-4-2 ターボモード

許可は、読み取りデータを高速で送信します。

メモ 高速にするとパソコン側の処理が追いつかないとき桁落ちなどが発生します。問題があれば使用しないで下さい。



KBDMTMD1.

許可



KBDMTMD0.

*禁止

10-1-4-3 テンキーパッドモード

許可は、数字キャラクタをテンキーパッドで入力したように送信します。

メモ パソコンによってはテンキーパッドが無いため対応しないことがあります。



KBDNPS1.

許可



KBDNPS0.

*禁止

注意 無用に設定しないで下さい

USB HIDはHID POS用の設定です。

設定すると、通常のパソコンにはデータが入らなくなります。

通常のパソコンは 10-1-1 USB HIDキーボードインターフェースの設定メニューを読み取って下さい。



TERMD131.

USB HID

インターフェース設定

10-3 USB シリアルインターフェース (USBバーチャルCOM)

*印は出荷時設定

注意 無用に設定しないで下さい

- ・ USB シリアルは技術者向け、または COM をサポートするソフト・システム向けの設定です。
- ・ **設定するとスキャナをパソコンに接続するのみではデータが入らなくなります。**

USB シリアルインターフェースとは

USB シリアルインターフェース、又は USB バーチャル COM は、USB ケーブルでホスト接続しながら RS-232C のようにシリアル通信を行う設定です。設定するとスキャナはパソコンの仮想 COM ポートに読み取りデータを送信します。

対応機種：USB を搭載した PC/AT 互換機

動作確認 OS：Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows XP (各 64bit、32bit)

その他：ドライバのインストール時は Windows の管理者(Administrator)アカウントでのサインインが必要です。

Windows 2000 は対応しません。

ドライバのダウンロードページ (ユーザー専用ページ)

<http://www.a-poc.co.jp/dl2/>

ログイン ID とパスワード→お買い上げの製品についている用紙に表示しております。

10-3-1 USBシリアル (USBバーチャルCOM)

注意 先に専用の USB シリアルデバイスドライバ(Windows 用)を PC にインストールして下さい。

先にドライバをインストールして下さい

TERMD130.

USB シリアル(USB バーチャル COM)

10-3-2 ACK/NAK モード

USB シリアルの ACK/NAK モードです。

メモ リアルの RS232 のボーレートなどの設定は不要です。設定がありません。



USBACK1.

ACK/NAK モード 許可



USBACK0.

* ACK/NAK モード 禁止

第 11 章 入力・出力設定

入力・出力設定

11-1 ブザー

*印は出荷時設定

11-1-1 起動ブザー

スキャナに電源が入ったときの起動ブザーの設定です。禁止は鳴りません。



11-1-2 トリガークリック音

スキャナのトリガーを押したときのクリック音の設定です。



11-1-3 読取ブザー 禁止/許可 読取成功時

11-1-3-1 ブザー禁止/許可 読取成功時

バーコードの読取成功時のブザーの設定です。禁止は鳴りません。ただし読取失敗時や設定時のブザーは鳴ります。



11-1-3-2 ブザー音量 読取成功時



入力・出力設定

11-1 ブザー（続き）

*印は出荷時設定

11-1-3 読取ブザー（続き）

11-1-3-3 ブザー音程 読取成功時

メモ 当社出荷時設定(カスタムデフォルト)を「中高(2731Hz)」に変更しました（2018年11月頃出荷分より）



11-1-3-4 ブザー音程 読取失敗時



11-3-3-5 ブザー時間 読取成功時



入力・出力設定

11-1 ブザー（続き）

*印は出荷時設定

11-3-3 読取ブザー（続き）

11-3-3-6 ブザー回数 読取成功時

バーコードの読取成功時のブザーが鳴る回数です。

例 2回に設定する手順：ブザー回数 読取成功時→(英数メニュー)2→保存
設定範囲=1～9 初期設定=1



ブザー回数 読取成功時

11-3-3-7 ブザー回数 読取失敗時

バーコードの読取失敗時やエラー時のブザーが鳴る回数です。

例 3回に設定する手順：ブザー回数 読取成功時→(英数メニュー)3→保存
設定範囲=1～9 初期設定=1



ブザー回数 読取失敗時

11-3-3-8 BELブザー **注** USBシリアル設定時の動作

許可は、ホストがスキャナにASCIIのBEL (Hex=07) を送信するとスキャナがブザーを鳴らします。



入力・出力設定

11-2 通知LED

*印は出荷時設定

11-2-1 通知LED 読取成功時

スキャナ上部の通知LEDランプの設定です。禁止は点灯しません。



BEPLED1.

*許可



BEPLED0.

禁止

入力・出力設定

11-3 読取成功ディレイ

*印は出荷時設定

11-3-1 読取成功ディレイ

読取成功後、次のバーコードを読み取るまでの時間の設定です。



DLYGRD0.

*無し



DLYGRD500.

*短(500ms)



DLYGRD1000.

中(1000ms)



DLYGRD1500.

長(1500ms)

11-3-2 ユーザー定義の読取成功ディレイ

ユーザー自身で設定する設定成功ディレイの時間です。

例 10 秒（10,000 ミリ秒）に設定する手順：ユーザー定義の読取成功ディレイ→(英数メニュー)1、0、0、0、0→保存
設定範囲=0~30,000 初期設定=0 単位=ms（ミリ秒）



DLYGRD.

ユーザー定義の読取成功ディレイ

入力・出力設定

11-4 トリガー

*印は出荷時設定

11-4-1 マニュアルトリガーモード（手動読み取り）

スキャナのトリガーを押してバーコードを読み取る設定です。

通常は一般的な紙ラベルなどを読む設定です。

液晶画面はスマートフォンなどの液晶画面を読みやすくする設定です。その代わり紙ラベルなどは読み取りにくくなる場合があります。また、白色照明LEDとエイマーはトリガーを押している間、点滅する動作になります。



*マニュアルトリガー 通常



マニュアルトリガー 液晶画面

11-4-1-1 Code Gate

マニュアルトリガー時の設定です。許可はエイマー（赤色照準）が常時点灯し、トリガーを押したときのみ読み取ります。



*禁止



許可

メモ CodeGate 許可にしたとき、小さなバーコードはエイマーをバーコードの上側に当てると読みやすいです。

「第3章 使い方」を参照して下さい。

11-4-1-2 連続読取

マニュアルトリガー時の設定です。許可はトリガーを押している間、異なるデータのバーコードを連続で読み取り続けます。トリガーを離すまで同じバーコードは読みません。



許可



*禁止

入力・出力設定

11-4 トリガー（続き）

*印は出荷時設定

11-4-2 シリアルトリガーモード（コマンド読み取り） **注** USBシリアル設定時の動作

メモ 14-4-1 マニュアルトリガーモード 通常、又はマニュアルトリガーモード液晶画面の設定メニューを読むとシリアルトリガーモードにもなります。

シリアルトリガーモードではトリガーを押して読み取るほかに、ホストからスキャナに読み取り開始コマンド（トリガーコマンド）を送信すると読み取り動作を開始します。バーコードを読み取る、ホストから読み取り停止コマンドを送信する、読み取りタイムアウトが経過する、いずれかのとき読み取り動作を停止します。

コマンドについてはシリアルコマンドを参照して下さい。

メモ CodeGateと連続読取は禁止に設定して下さい。許可のときはコマンドで読み取りできません。

11-4-2-1 読み取りタイムアウト

シリアルトリガーモードのとき、読み取り開始コマンドでスキャナが読み取り開始したときのタイムアウトの時間設定です。

例 60 秒（60,000 ミリ秒）に設定する手順：ユーザー定義の読取成功デレイ→(英数メニュー)6、0、0、0、0→保存
設定範囲=0~300,000 初期設定=30,000 単位=ms（ミリ秒）



読み取りタイムアウト

入力・出力設定

11-4 トリガー（続き）

*印は出荷時設定

11-4-3 キャラクタ有効化モード（設定した文字送信で読取開始） **注** USBシリアル設定時の動作

キャラクタ有効化モードはシリアルトリガーモード（コマンド読み取り）の1種です。

シリアルトリガーモードでは製品固有のシリアルコマンドで読み取り開始または停止しますが、キャラクタ有効化モードはユーザーがトリガーとなるキャラクタ（文字）をスキャナに設定し、ホストからそのキャラクタをスキャナに送信すると読み取り動作を開始します。

バーコードを読み取る、ホストから（スキャナに設定した）読み取り停止キャラクタを送信する、キャラクタ有効化読み取りタイムアウトが経過する、いずれかのとき読み取り動作を停止します。

メモ CodeGateと連続読取は禁止に設定して下さい。許可のときはキャラクタ有効化で読み取りできません。

キャラクタ有効化モードを使用するには、次の許可を読み取って下さい。



11-4-3-1 有効化キャラクタ

有効化キャラクタを設定します。ASCIIコード表を参照しキャラクタをあらわす2桁の値を設定します。

例 Hexの41（ASCIIのA）に設定する手順：有効化キャラクタ→(英数メニュー)4、1→保存

設定範囲=Hex 00~7F 初期設定=Hex 12（ASCIIのDC2）



11-4-3-2 有効化キャラクタ読取成功後の照明オフ

有効化キャラクタ送信によってバーコード読取成功した後、スキャナの照明をオフにするかオフにしないかの設定です。

メモ この設定は読み取り開始コマンド（トリガーコマンド）でトリガーされたときにも反映します。



11-4-3-3 キャラクタ有効化タイムアウト

有効化キャラクタ送信でスキャナが読み取り開始したときのタイムアウトの時間設定です。

例 20秒（20,000ミリ秒）に設定する手順：ユーザー定義の読取成功ディレイ→(英数メニュー)2、0、0、0、0→保存

設定範囲=0~300,000 初期設定=30,000 単位=ms（ミリ秒）



入力・出力設定

11-4 トリガー（続き）

*印は出荷時設定

14-4-4 キャラクタ無効化モード（設定した文字送信で読取終了）**注** USBシリアル設定時の動作

有効化キャラクタによってスキャナが読取開始した後、ホストからユーザーが設定した無効化キャラクタをスキャナに送信すると読み取り動作を終了します。

キャラクタ無効化モードを使用するには、次の許可を読み取って下さい。



11-4-4-1 無効化キャラクタ

無効化キャラクタを設定します。ASCIIコード表を参照しキャラクタをあらわす2桁の値を設定します。

例 Hexの41（ASCIIのA）に設定する手順：有効化キャラクタ→(英数メニュー)4、1→保存

設定範囲=Hex 00~7F 初期設定=Hex 14（ASCIIのDC4）



入力・出力設定

11-4 トリガー（続き）

*印は出荷時設定

11-4-5 エイマーディレイ

マニュアルトリガー時の設定です。複数のバーコードから目的の1つを読みやすくする設定の1つです。

トリガーを押してエイマー（赤色照準）でバーコードを狙った後、設定した時間だけ遅れて読み込みます。



11-4-5-1 ユーザー定義のエイマーディレイ

ユーザー自身で設定するエイマーディレイの時間です。

例 10 秒（10,000 ミリ秒）に設定する手順：ユーザー定義の読取成功ディレイ→(英数メニュー)1、0、0、0、0→保存
設定範囲=0~4,000 初期設定=0 単位=ms（ミリ秒）



ユーザー定義のエイマーディレイ

入力・出力設定

11-4 トリガー（続き）

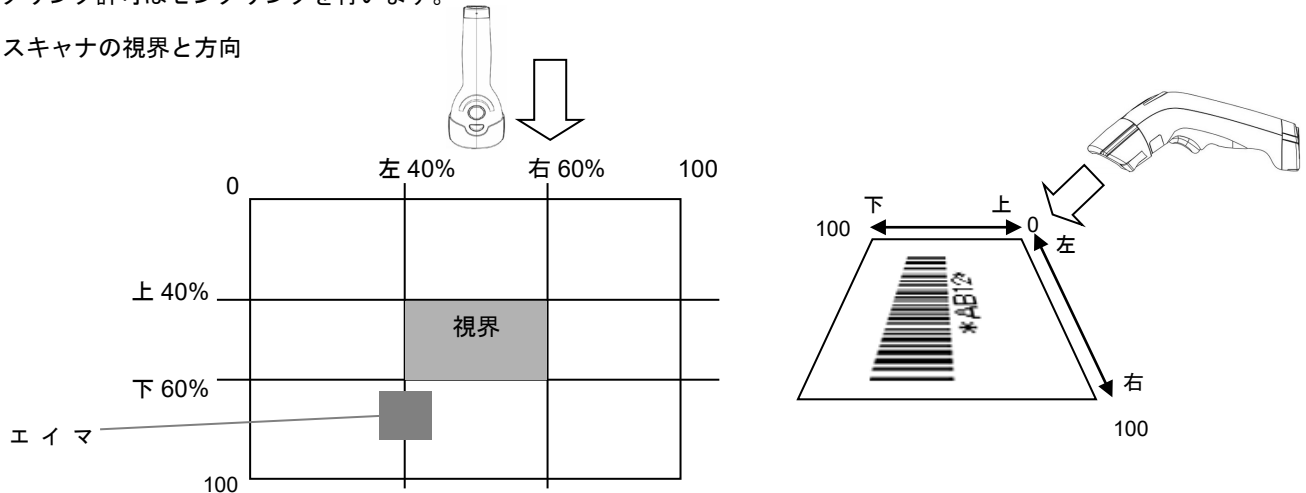
*印は出荷時設定

11-4-6 センタリング（マニュアルトリガー時）

センタリングはスキャナの視界を絞る設定です。禁止はセンタリングを行いません（出荷時の設定）。

センタリング許可はセンタリングを行います。

図 スキャナの視界と方向



メモ エイマーは視界の中央から少しはなれた箇所に照射します。



11-4-6-1 センタリングの範囲（マニュアルトリガー時）

スキャナが見ている方向は、上の図のようになります。工場出荷時の初期値は上40%、下60%、左40%、右60%です。

例 上を45%にする手順：上→(英数メニュー)4、5→保存



11-4-6-2 センタリングのクイックメニュー（マニュアルトリガー時）

あらかじめ用意したセンタリングの設定です。スキャナの視界の上下を狭くします。エイマー(赤色光)を照射した箇所のみ読みやすくなります。例えば、縦に並んだバーコードから目的のバーコードを読みやすくなります。

かなり狭い



狭い



少し狭い



DECWIN1;DECBOT70;DECTOP68;DECRG
T100;DECLFT0.

DECWIN1;DECBOT70;DECTOP65;DECRG
T100;DECLFT0.

DECWIN1;DECBOT72;DECTOP63;DECRG
T100;DECLFT0.

入力・出力設定

11-5 プレゼンテーション

*印は出荷時設定

11-5-1 プレゼンテーションモード（自動読み取り）

プレゼンテーションモードはバーコードや品物をスキャナの前にかざすと自動的に読み取る設定です。スキャナをハンドフリースタンドに置いて使用するときに設定して下さい。

「通常」は一般的な紙ラベルを読む設定です。液晶画面も読みます。「液晶画面」は液晶画面を読みやすくする設定です。その代わりに、紙ラベルなどは読み取りにくくなる場合があります。



プレゼンテーション 通常

注意 強制的に照明ライトが点滅します。この設定を元に戻すには 9-3(又はかんたんガイド)「初期設定」のメニューを読み取って下さい。



プレゼンテーション 液晶画面

メモ この設定を元に戻すには 11-4-1(又はかんたんガイド)「マニュアルトリガー 通常」のメニューを読み取って下さい。

注意 周囲に十分な明るさが無いとプレゼンテーションがうまく動作しないことがあります。

11-5-2 プレゼンテーションモードの自動消灯

11-5-1「プレゼンテーション 通常」を設定したときのオプション設定です。自動消灯するは、しばらくすると白色照明ライトが消灯します。バーコードをかざすと点灯して読み取ります。※この設定は「プレゼンテーション 液晶画面」には無効です



自動消灯する



*自動消灯しない

11-5-3 プレゼンテーション感度

11-5-1「プレゼンテーション 通常」を設定したときのオプション設定です。スキャナがバーコードを検知する感度を設定します。0が高感度、20が低感度です。初期設定は1です。※この設定は「プレゼンテーション 液晶画面」には無効です

ご案内 「プレゼンテーション 通常」に設定したスキャナをハンドフリースタンドに置いたときに、スキャナが周囲のものに反応して照明ライトが頻繁に点灯・消灯する場合があります。反応を抑えるにはプレゼンテーション感度を低く設定して下さい。

例 3に設定する手順：プレゼンテーション感度→(英数メニュー)3→保存

設定範囲=0~20 初期設定=1



プレゼンテーション感度

11-5-3-1 プレゼンテーション感度のクイックメニュー

このメニューを読むとあらかじめ用意したプレゼンテーション感度の値に設定します。

超高感度(設定値 1=初期設定)

高感度(設定値 5)

中感度(設定値 7)



TRGPMS1.



TRGPMS5.



TRGPMS7.

入力・出力設定

11-5 プレゼンテーション（続き）

*印は出荷時設定

11-5-4 ハンズフリータイムアウト

プレゼンテーションのとき、スキャナのトリガーを押すと一時的にマニュアルトリガーモードになります。しばらくするとプレゼンテーションに戻ります。この設定はプレゼンテーションに戻るまでの時間の設定です。

例 10 秒（10,000 ミリ秒）に設定する手順：ハンズフリータイムアウト→(英数メニュー)1、0、0、0、0→保存
設定範囲=0~300,000 初期設定=5,000 単位=ms（ミリ秒）



ハンズフリータイムアウト

11-5-5 プレゼンテーションの再読取ディレイ

同一バーコードを再度読み取るまでの時間の設定です。



短



*中(750ms)



長(1000ms)



超長(2000ms)

11-5-5-1 ユーザー定義のプレゼンテーションの再読取ディレイ

ユーザー自身で設定するプレゼンテーションの再読取ディレイの時間です。

例 10 秒（10,000 ミリ秒）に設定する手順：ユーザー定義の読取成功ディレイ→(英数メニュー)1、0、0、0、0→保存
設定範囲=0~30,000 初期設定=750 単位=ms（ミリ秒）



ユーザー定義のプレゼンテーション再読取ディレイ

入力・出力設定

11-5 プレゼンテーション（続き）

*印は出荷時設定

11-5-6 2Dコードの再読取ディレイ

プレゼンテーションの2次元バーコードに対する、同一バーコードを再度読み取るまでの時間の設定です。

無しときは、1次元バーコード、2次元コードともプレゼンテーションの再読取ディレイの設定となります。



DLY2RR0.

*無し



DLY2RR1000.

(1000ms)



DLY2RR2000.

(2000ms)



DLY2RR3000.

(3000ms)



DLY2RR4000.

(4000ms)

入力・出力設定

11-5 プレゼンテーション (続き)

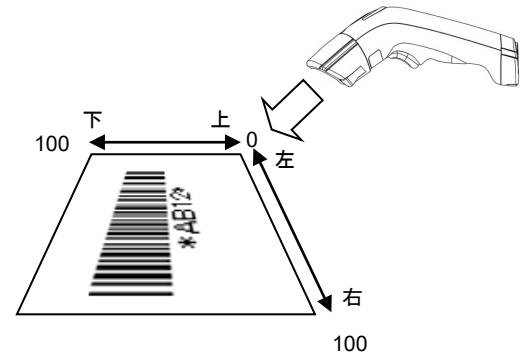
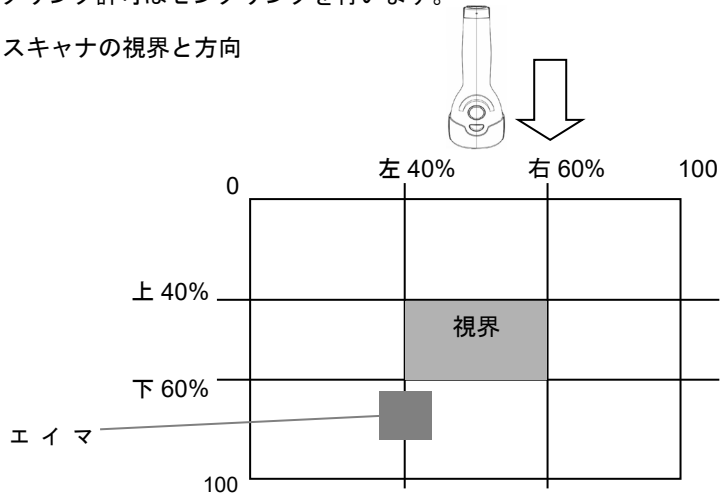
*印は出荷時設定

11-5-7 センタリング (プレゼンテーション時)

センタリングはスキャナの視界を絞る設定です。禁止はセンタリングを行いません (出荷時の設定)。

センタリング許可はセンタリングを行います。

図 スキャナの視界と方向



メモ エイマは視界の中央から少しはなれた箇所に照射します。



11-5-7-1 センタリングの範囲 (プレゼンテーション時)

工場出荷時の初期値は上40%、下60%、左40%、右60%です。

例 センタリングの上を45%にする手順：上→(英数メニュー)4、5→保存



入力・出力設定

11-6 白色照明ライトとエイマー

*印は出荷時設定

注意 白色照明ライト消灯とエイマー消灯を同時に設定しないで下さい。

スキャナが何も点灯しなくなります。万一、点灯しなくなったら、明るい環境で設定メニュー白色照明ライト点灯およびエイマー点灯にスキャナを向けてトリガーを押して下さい。周囲の明るさによって読み取り、点灯するように戻ります。

11-6-1 白色照明ライト 点灯/消灯

消灯は白色照明ライトが点灯しなくなります。

注意 通常は許可のままをご使用下さい。禁止はかなり明るい環境でないと読み取り性能が極端に下がります。



SCNLED1.

*白色照明ライト点灯



SCNLED0.

白色照明ライト消灯

注意 同時にエイマー消灯を設定しないで下さい。

11-6-2 白色照明ライト 明るさ

低は白色照明ライトの明るさが少し抑えられます。

注意 通常は高のままをご使用下さい。低は明るい環境でないと読み取り性能が下がります。



PWRNOL50.

低



PWRNOL150.

*高

11-6-3 エイマー 消灯/点灯/点滅

エイマー（赤色照準）の点灯方法を設定します。

メモ エイマー点滅を設定すると、バーコードを読みやすくなる場合があります。



SCNAIM0.

エイマー消灯

注意 同時に白色照明ライト消灯を設定しないで下さい。



SCNAIM2.

*エイマー点灯



SCNAIM4.

エイマー点滅

入力・出力設定

11-7 低品質コード / No Read / 白黒反転

*印は出荷時設定

11-7-1 低品質1D

許可は低品質な1次元バーコードを読みやすくします。その代わりに、通常のバーコードの読取性能が低下することがあります。



11-7-2 低品質PDF417

許可は低品質なPDF417を読みやすくします。その代わりに、通常のPDF417の読取性能が低下することがあります。



11-7-3 No Read

許可はバーコードを読み取れなかったとき、文字「NR」をパソコンに送信します。



11-7-4 白黒反転

反転のみ許可、反転と通常許可は白バーと黒バーのパターンが逆の白黒反転バーコード（ネガバーコード）を読む設定です。

メモ QRコードの白黒反転は初期設定「通常のみ許可」で読み取ります。

注意 反転のみ許可を設定すると、設定メニューも読まなくなります。通常のみ許可、反転と通常許可に戻してください。

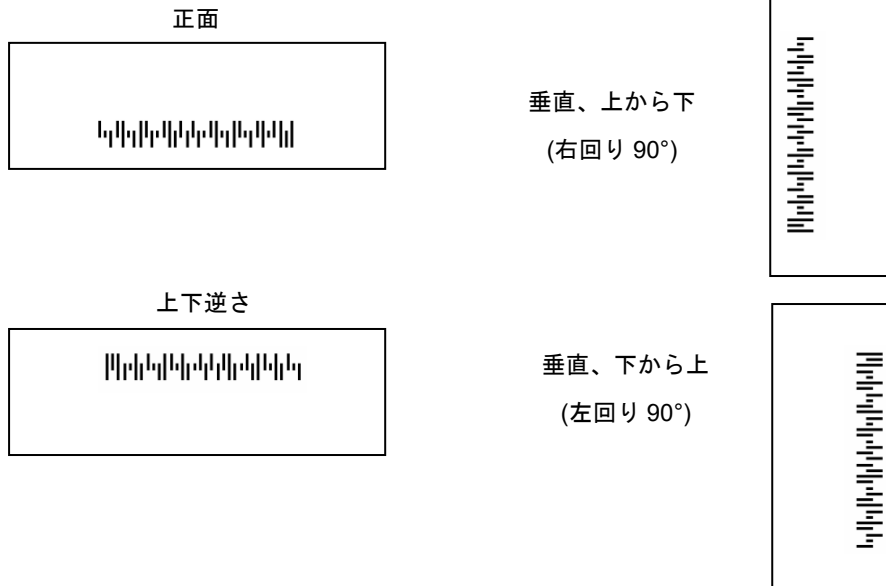


11-8 ワーキングオリエンテーション

*印は出荷時設定

ワーキングオリエンテーション

読み取り方向に敏感なシンボル（KIXなど）を読むときの設定です。読む方向に合わせて設定して下さい。



第 12 章 送信データ設定

送信データ設定

12-1 プリフィックス/サフィックスの設定

*印は出荷時設定

(1) プリフィックス/サフィックスについて

プリフィックスは読み取りデータの前に追加するキャラクタやキーです。1 個から 11 個まで追加できます。

サフィックスは読み取りデータの後に追加するキャラクタやキーです。1 個から 11 個まで追加できます。

プリフィックスとサフィックスはバーコードの種類ごとに追加できます。

メモ 工場出荷時の初期設定は、プリフィックスとサフィックスに何も設定されていません。改行無しの状態です。

プリフィックス 1-11	読み取りデータ	サフィックス 1-11
--------------	---------	-------------

(2) 設定方法 プリフィックス/サフィックスの追加

1. プリフィックス追加またはサフィックス追加の設定メニューを読み取ります。
2. 付録 G 英数メニューから、シンボル（バーコードの種類）を表す 2 桁の値を読み取ります。
シンボルの値は付録 A シンボル一覧表（コード ID 表）を参照します。
3. 付録 G 英数メニューから、追加するキャラクタを表す 2 桁の値を読み取ります。
キャラクタの値は付録 B ASCII コードと下位 ASCII コード表を参照します。
ファンクションキーの値は 付録 B ASCII コード表のコントロール+X モードオフを参照します。
4. 付録 G 英数メニューにある保存のメニューを読み取ります。

例 すべてのシンボル（すべてのバーコード）のプリフィックスに「A」を追加する：

プリフィックス追加→(英数メニュー)9、9、4、1→保存 ※すべてのシンボルの値は 99、A の値は 41

例 Code 39 のサフィックスに「Tab キー」を 2 回追加する：

サフィックス追加→(英数メニュー)6、2、0、9、0、9→保存 ※Code 39 の値は 62、Tab キーの値は 09

メモ 上記手順 3 のとき、コード ID を追加するときは、5, C, 8, 0 を読み取ります。AIM ID を追加するときは、5, C, 8, 1 を読み取ります。バックslash（¥）を追加するときは、5, C, 5, C を読み取ります（5C を 2 回読みます）。

(3) 設定方法 プリフィックス/サフィックスの削除

すべてのプリフィックス削除またはすべてのサフィックス追加の設定メニューを読み取ります。

もしくは、シンボルごと追加していた場合、次の手順でシンボルを指定して削除することができます。

1. プリフィックス削除またはサフィックス追加のメニューを読み取ります。
2. 付録 G 英数メニューから、シンボル（バーコードの種類）を表す 2 桁の値を読み取ります。
シンボルの値は付録 A シンボル一覧表（コード ID 表）を参照します。
3. 付録 G 英数メニューにある保存のメニューを読み取ります。

送信データ設定

12-1 プリフィックス/サフィックスの設定（続き）

*印は出荷時設定

12-1-1 すべてのシンボルにCRサフィックスを追加

改行の設定です。読み取りデータの最後に改行（Enterキー、CR）を送信します。



すべてのシンボルにCRサフィックスを追加

メモ 出荷時のカスタムデフォルトは「すべてのシンボルにCRサフィックスを追加」が設定保存済み止です（第9章 カスタムデフォルト設定を参照）。カスタムデフォルトを削除するとサフィックス無しになります。

12-1-2 プリフィックスの設定メニュー



プリフィックス追加



シンボルを指定してプリフィックス削除



すべてのプリフィックス削除

12-1-3 サフィックスの設定メニュー



サフィックス追加



シンボルを指定してサフィックス削除



すべてのサフィックス削除

送信データ設定

12-2 制御文字の送信

*印は出荷時設定

制御文字の送信

送信するは、スキャナは読み取りバーコードデータ内の印刷不可な ASCII 制御文字 (00-1F) をパソコンに送信します。

スキャナが USB HID キーボードインターフェースのとき、スキャナは ASCII 制御文字をファンクションキー (文字以外の操作キー) に変換して送信します。例えば、バーコードデータ内の ASCII 制御文字 HT(HEX 09)は Tab キーに変換して送信します。

制御文字とファンクションキーの変換の割り当ては付録 B ASCII コード表 キーボードコントロール+ASCII(CTRL+X)モードを参照して下さい。



RMVFNC0.

*送信する



RMVFNC1.

送信しない

メモ 制御文字を制御文字として取り扱える状態は USB シリアルインターフェースの設定時です。

送信データ設定

12-3 送信データのディレイ

*印は出荷時設定

(1) 送信データのディレイについて

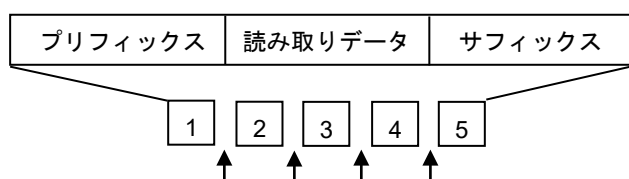
スキャナのデータ送信速度を遅くする設定です。※ディレイ(Delay)=遅延、遅れ

(2) 設定方法 ディレイの設定

各ディレイのメニューを読み取り、次に付録 G 英数メニューから 0~1000 の範囲で値を読み取り、保存を読み取ります。値は 5 ミリ秒単位で換算し、最大 5000 ミリ秒まで設定できます。初期設定は 0 です。

12-3-1 キャラクタ間ディレイ

スキャナが送信する各キャラクタの間に設定する遅延時間です (1 桁ごとの遅延)。



例 10 ミリ秒を設定する手順：キャラクタ間ディレイ→(英数メニュー)2→保存 ※10 ミリ秒の設定値は 2 (2 x 5ms=10ms)



キャラクタ間ディレイ

注意 USB シリアルではキャラクタ間ディレイは無効です。

12-3-2 ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ

ユーザーが指定したキャラクタに対してディレイを生じさせる設定です。

ユーザー指定のディレイの設定方法は設定方法 ディレイの設定を参照して下さい。

ユーザー指定のディレイキャラクタは、付録 B ASCII コードと下位 ASCII コード表を参照しキャラクタに換算する ASCII コード表の 2 桁の値を読み取り、保存を読み取ります。

例 文字 A の後に 15 ミリ秒を設定する手順：ユーザー指定のディレイ→(英数メニュー)3→保存

ユーザー指定のディレイキャラクタ→(英数メニュー)4、1→保存 ※A の値は 41



ユーザー指定のディレイ



ユーザー指定のディレイキャラクタ

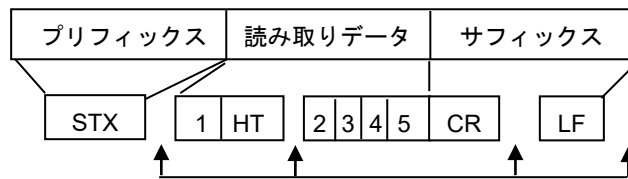
送信データ設定

12-3 送信データのディレイ（続き）

*印は出荷時設定

12-3-3 ファンクション間ディレイ

制御文字の後に設定する遅延時間です。



例 20 ミリ秒を設定する手順：ファンクション間ディレイ→(英数メニュー)4→保存 ※20 ミリ秒の設定値は 4 (4 × 5ms=20ms)



DLYFNC.

ファンクション間ディレイ

12-3-4 メッセージ間ディレイ

1つの読み取りデータの後に設定する遅延時間です。



例 5 ミリ秒を設定する手順：ファンクション間ディレイ→(英数メニュー)1→保存 ※5 ミリ秒の設定値は 1 (1 × 5ms=5ms)



DLYMSG.

メッセージ間ディレイ

第 13 章 データフォーマット設定（読取データの編集）

データフォーマット設定

13-1 データフォーマットの設定方法

*印は出荷時設定

ご案内 GS1 バーコードの AI によるデータ編集は付録 D GS1 データ編集設定を参照して下さい。この章は汎用の設定です。

(1) データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタはスキャナがパソコンに送信するデータのフォーマット（送信する文字の形式）を変更する設定です。例えば、読み取りデータの一部のみ送信したり、指定した位置にキャラクタを挿入したりできます。この後のページに記載された設定は、送信するデータを変更したい場合だけに使用してください。

通常、バーコードを読み取ると自動的に送信します。フォーマットを設定する場合は送信コマンドでデータを出力する必要があります。

スキャナには複数のフォーマットを設定できます。設定した順にスタックされます。ただし、次の順所で設定を適用します。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

メモ データフォーマットに設定可能な構成はヘッダー情報を含め最大 2000 バイトです。

データフォーマットの設定をすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、データフォーマット初期設定のメニューを読み取ります。

13-1-1 データフォーマット初期設定



*データフォーマット初期設定

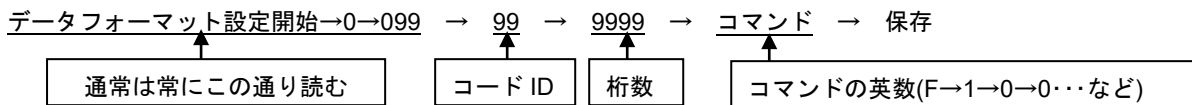
データフォーマット設定

13-1 データフォーマットの設定方法（続き）

*印は出荷時設定

(2) 設定方法 データフォーマットの追加

図 設定メニューを読み取る順序



設定メニューを読み取る順序

1. データフォーマット設定開始のメニューを読み取ります。
2. 基準/代用フォーマットを設定します。

メモ 以下、すべて付録 G 英数メニューを読み取ります。

スキャナは基準フォーマット、代用フォーマット 1、代用フォーマット 2、代用フォーマット 3 の合計 4 つのフォーマットを保存できます。基準フォーマットを設定するときは、英数メニューの 0 を読み取ります。代用フォーマット 1、2、3 なら英数メニューの 1、2、3 を読み取ります。

- ※ 通常は 0 を読み取って下さい。
- ※ 使用中、スキャナが動作するデータフォーマットは 1 つです。
- ※ 一通り設定した後、基準/代用フォーマットは設定メニューを読み取って切り替えます。

3. ターミナル ID を設定します。

ターミナル ID 表からターミナル ID を確認します。英数メニューからターミナル ID の数字 3 桁を読み取ります。

- ※ 通常は 099 を設定して下さい（英数メニューから 0、9、9 を読む）。099 は全てのターミナルに適用します。

4. コード ID を設定します。

付録 A で、データフォーマットを適用するシンボルの種類とその Hex 値を確認します。英数メニューから 2 桁の Hex 値を読み取ります。

- ※ 全シンボルに適用するなら 99 を設定して下さい。例えば Code 39 のみ適用するなら 62 を設定して下さい。

5. 長さ（桁数）を設定します。

英数メニューから 4 桁の数字を読み取り、フォーマットを適用するバーコードの長さ（桁数）を設定します。

- ※ 全ての長さ（桁数）に適用するなら 9999 を設定してください。50 桁のみ適用するなら 0050 を設定して下さい。

6. エディタコマンドを設定します。

コマンドについてはデータフォーマットエディタコマンドを参照してください。コマンドを表す英数メニューを読み取ります。

7. 保存のメニューを読み取ります。以上です。

13-1-2 データフォーマット設定



DFMBK3.

データフォーマット設定開始



MNUSAV.

保存

(データフォーマット設定終了)



MNUABT.

中止して終了

データフォーマット設定

13-1 データフォーマットの設定方法（続き）

*印は出荷時設定

(3) ターミナル ID 表

データフォーマットを設定する際のターミナル ID 表です。

メモ 通常は 099 を設定して下さい。099 は汎用の ID です。

	モデル	ターミナル ID
すべて	すべて	099
USB	英語キーボード配列(PC)	124
	英語キーボード配列(Mac)	125
	日本キーボード配列(PC)	134
	USB シリアル	130

(4) 設定方法 データフォーマットの削除

データフォーマットすべて削除の設定メニューを読み取ります。

もしくは、基準/代用フォーマットから、1つを選択して削除できます。他の基準/代用データフォーマットは影響を受けません。設定メニューを次の順序で読み取りします。

1. 「基準/代用フォーマットを指定して削除」のメニューを読み取ります。
2. 削除する基準/代用フォーマットの数字メニューを付録英数メニューから読み取ります。※0 を設定したなら 0 を読みます
3. 削除するターミナル ID の数字メニューを付録英数メニューから読み取ります。※099 を設定したなら 099 を読みます
4. 削除するシンボル ID の数字メニューを付録英数メニューから読み取ります。※99 を設定したなら 99 を読みます
5. 削除する長さ（桁数）の数字メニューを付録英数メニューから読み取ります。※9999 を設定したなら 9999 を読みます
6. 付録英数メニューにある保存のメニューを読み取ります。

13-1-3 データフォーマット削除



DFMCL3.

基準/代用フォーマットを指定して削除



DFMCA3.

データフォーマットすべて削除



MNUABT.

中止して終了



MNUSAV.

保存

(データフォーマット設定終了)

データフォーマット設定

13-1 データフォーマットの設定方法（続き）

*印は出荷時設定

(5) データフォーマッター

データフォーマットを禁止（オフ）にするか、許可（オン）にするかの設定です。詳細は次の通りです。

データフォーマッター 禁止：

データフォーマットの設定をスキャナに保存したまま、無効（オフ）にする設定です。バーコードデータは読み取ったままパソコンに送信されます。プリフィックスとサフィックスも送信します。

データフォーマッター 許可 要求しない（初期設定）：

データフォーマットによって読み取りデータを編集して送信します。プリフィックスとサフィックスも送信します。データフォーマットと一致しないバーコードデータはそのまま送信します。

データフォーマッター 許可 要求する：

データフォーマットによって読み取りデータを編集して送信します。プリフィックスとサフィックスも送信します。スキャナはデータフォーマットに設定した内容（コードID、長さ、コマンド）と読み取りデータの一致を要求します。一致しない場合、エラー音（ブザー 読取失敗時）が鳴りデータ送信しません。

例 データフォーマットに Code 39 が 10 桁なら 1~8 桁目を送信すると設定した場合

・データフォーマッター 許可 要求しないのとき：

Code 39 10 桁を読むと 1~8 桁目を送信します。Code 39 10 桁以外（11 桁など）を読むとそのままのデータを送信します。

・データフォーマッター 許可 要求するのとき：

Code 39 10 桁を読むと 1~8 桁目を送信します。Code 39 10 桁以外を読むとエラー音が鳴りデータを送信しません。

また、他のシンボル（JAN など）を読み取ってもエラー音が鳴りデータを送信しません。

13-1-4 データフォーマッター設定



DFM_EN0.

データフォーマッター 禁止



DFM_EN1.

*データフォーマッター 許可
要求しない
プリフィクス サフィックスあり



DFM_EN2.

データフォーマッター 許可
要求する
プリフィクス サフィックスあり

データフォーマット設定

13-1 データフォーマットの設定方法（続き）

*印は出荷時設定

(6) 基準/代用フォーマット

設定した基準/代用フォーマットを切り替える設定です。次の設定メニューを読み取ると切り替わります。

13-1-5 基準/代用フォーマット



ALTFNM0.
基準フォーマット



ALTFNM1.
代用フォーマット 1



ALTFNM2.
代用フォーマット 2



ALTFNM3.
代用フォーマット 3

データフォーマット設定

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）

*印は出荷時設定

用語について

カーソル：本製品でデータフォーマットを設定するとき、スキャナ内部に読み取ったキャラクタの位置を示すカーソルがあると解釈してください。例えばスキャナ内部のカーソル位置から何文字送信する、という考え方で設定します。データフォーマットでのカーソルの初期位置は1桁目にあります。

メッセージ：読み取ったバーコードデータです。

Syntax：シンタックス。コマンドの構文です。

設定例について

設定例の英数字の箇所は英数メニューを読み取って下さい。見やすくするため意味ごとに分けて記載しています。

例えばデータフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F2 10 00→保存なら、設定メニューは次のように読み取ります。

データフォーマット設定開始、0、0、9、9、9、9、9、9、9、9、F、2、1、0、0、0、保存

メモ コードIDのHex値、キャラクタのHex値については「ASCII変換チャート」を参照して下さい。

メモ 「データフォーマット設定開始→0→099→99(全シンボル)→9999(全桁数)」は適宜、必要な設定をして下さい。

たとえばQRコードのみに適用するなら99(全シンボル)の箇所は73と読み取ります。

メモ フォーマットをいろいろと変更して試す場合は、最初にデータフォーマット初期設定かデータフォーマットすべて削除のメニューを読み取って下さい。内容によっては以前のフォーマットが優先され、新しい設定が反映しないためです。

(1) 送信コマンド

すべてのキャラクタを送信する

F1 現在のカーソル位置からすべてのキャラクタを出力し、その後ユーザー指定のキャラクタを挿入します。**Syntax = F1xx** (xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています)

いくつかのキャラクタを送信する

F2 メッセージ内のいくつかのキャラクタを出力し、その後ユーザー指定のキャラクタを挿入します。現在のカーソル位置から始まり、「nn」このキャラクタまで、もしくは出力メッセージの最後のキャラクタまで続きます。

Syntax = F2nnxx (nnはキャラクタ数を示す数字(00~99)、xxは挿入するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています)

例 すべてのバーコードはすべての桁数で、最初の10桁を送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F2 10 00→保存

データ：1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後：1234567890を送信する



例 F2とF1の例

すべてのバーコードはすべての桁数で、最初の10桁を送信し、Tabを送信し、残りの桁をすべて送信する。

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F2 10 09→F1 00→保存

メモ TabのHex値=09

データ：1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後：1234567890 Tab ABCDEFGHIJを送信する

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(1) 送信コマンド（続き）

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのキャラクタすべてを出力メッセージから抜き出して出力し、続いてユーザー指定のキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。**Syntax = F3ssxx** (ss は検索キャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています。xx は挿入するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています)

例 すべてのバーコードはすべての桁数で、D までを送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F3 44 00→保存

メモ D の Hex 値=44

データ : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : 1234567890ABC を送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

最後のキャラクタ以外のキャラクタすべてを送信する

E9 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、最後の「nn」キャラクタを除くすべてのキャラクタを出力します。カーソルは最後のキャラクタから 1 つ過ぎたところへ移動します。**Syntax = E9nn** (nn は、送信されない最後のキャラクタの数値(00~99)を示しています)

例 Code 128 なおかつ 20 桁のときは、最後の 5 桁を送信しない

データフォーマット設定開始→0→099→6A→0020→E9 05→保存

データ(Code128) : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : 1234567890ABCDE を送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

メモ Code 128 なおかつ 20 桁以外のバーコードはそのまま送信します

キャラクタを複数回挿入する

F4 現在のカーソル位置はそのまま、**「xx」**キャラクタを**「nn」**回出力メッセージに加えて送信します。**Syntax = F4xxnn** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数(00~99)を示します)

例 F1 と F2 と F4 の例

すべてのバーコードは最初の 10 桁を送信し、Tab を 2 回送信し、残りの桁をすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F2 10 00→F4 09 02→F1 00→保存

メモ Tab の Hex 値=09

データ(Code128) : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : 1234567890 Tab Tab ABCDEFGHIJ を送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

メモ エディタコマンドは F2 10 09→F4 09 01→F1 00でも同じ結果になります。

データフォーマット設定

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(2) 移動コマンド

カーソルを前方に移動

F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ先（前方）へと移動させます。Syntax = F5nn

（nnは、カーソルを前に移動させるキャラクタ数(00～99)を示しています。移動後のカーソルの位置は nn の直後です）

例 F1 と F5 の例

すべてのバーコードは 5 桁先へ移動し、残り（カーソルよりも前方）の桁をすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F5 05→F1 00→保存

データ(Code128) : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : 67890ABCDEFGHIJ を送信する

後方 ← カーソル(初期位置は 1 桁目) → 前方



カーソルを後方に移動

F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ後ろ（後方）へ移動させます。Syntax = F6nn

（nnは、カーソルを後ろへ移動させるキャラクタ数(00～99)を示しています）

カーソルを先頭に移動

F7 カーソルを出力メッセージの先頭に移動させます。Syntax = F7

カーソルを最後に移動

EA カーソルを出力メッセージの最後のキャラクタに移動させます。Syntax = EA

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(3) 検索コマンド

前方のキャラクタを検索

F8 出力メッセージ内で、現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタ（の直前）に移動します。**Syntax = F8xx**（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています）

例 F1 と F8 の例

すべてのバーコードはすべての桁数で、D からすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F8 44→F1 00→保存

メモ D の Hex 値=44

データ : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : DEFGHIJ を送信する

後方 ← カーソル(初期位置は 1 桁目) → 前方



後方のキャラクタを検索

F9 出力メッセージ内で、現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。**Syntax = F9xx**（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています）

一致しないキャラクタを前方検索

E6 出力メッセージ内で、現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」でないキャラクタに移動します。**Syntax = E6xx**（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています）

例 F1 と E6 の例

バーコードのはじめにある複数の 0（ゼロ）を削除する（すべてのバーコードはすべての桁数で、0 以外の文字からすべて送信する）

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→E6 30→F1 00→保存

メモ 0 の Hex 値=30

データ : 000037692 → 設定後 : 37692 を送信する



一致しないキャラクタを後方検索

E7 出力メッセージ内で、現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」でないキャラクタに移動します。**Syntax = E7xx**（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています）

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(4) その他のコマンド

キャラクタの無効

FB カーソルを他のコマンドで進めると同時に、現在のカーソル位置から最大 15 のキャラクタをすべて無効にします。カーソルは、FB コマンドでは移動しません。FC コマンドを実行すると、この機能は停止します。

Syntax = FBnnxyy...zz (nn は無効になるキャラクタの数、xyy...zz は、無効になるキャラクタのリストです)

例 F1 と FB の例

すべてのバーコードはスペースを無効（削除）にしてすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→FB 01 20→F1 00→保存

メモ スペースの Hex 値=20

データ(Code128) : 345 678 90 ABC DEF → 設定後 : 34567890ABCDEF を送信する



345 678 90 ABC DEF

キャラクタの無効を停止

FC 無効フィルタを停止し、対象のキャラクタの設定をすべて削除します。 **Syntax = FC**

例 F1、F2、FB、FC の例

すべてのバーコードは 10 桁目までスペースを無効（削除）にして送信し、残りの桁はスペースをそのまま（無効停止）にしてすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→FB 01 20→F2 10 00→FC→F1 00→保存

メモ スペースの Hex 値=20

データ(Code128) : 345 678 90 ABC DEF → 設定後 : 34567890 ABC DEF を送信する



345 678 90 ABC DEF

データフォーマット設定

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(4) その他のコマンド（続き）

キャラクタの置換

E4 出力メッセージ内にあるキャラクタを最大15のキャラクタまで置き換えます。カーソルは、E4コマンドでは移動しません。E5コマンドを実行すると、この機能は停止します。

Syntax = E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2 (nn は変更前のキャラクタと変更後のキャラクタの合計です。xx1 は、変更前のキャラクタを、xx2 は変更後のキャラクタを定義します。zz1 と zz2 まで同様です)

例 F1 と E4 の例

すべてのバーコードはコンマを Tab に置換してすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→E4 02 2C 09→F1 00→保存

メモ コンマの Hex 値=2C

Tab の Hex 値=09

データ(Code128) : 123,456,ABC,DEF → 設定後 : 123 Tab 456 Tab ABC Tab DEF を送信する



123,456,ABC,DEF

キャラクタの置換を停止

E5 キャラクタの置換を停止します。Syntax = E5

例 F1、F2、E4、E5 の例

すべてのバーコードは 8 桁目までコンマ Tab に置換して送信し、残りの桁はコンマをそのまま（置換停止）にしてすべて送信する

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→E4 02 2C 09→F2 08 00→E5→F1 00→保存

メモ コンマの Hex 値=2C

Tab の Hex 値=09

データ(Code128) : 123,456,ABC,DEF → 設定後 : 123 Tab 456 Tab ABC,DEF を送信する



123,456,ABC,DEF

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(4) その他のコマンド（続き）

キャラクタの比較

FE 現在のカーソル位置のキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。**Syntax = FExx** (xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する HEX 値を示しています)

例 F1、F7、FE の例

すべてのバーコードは先頭が 45 のときのみ読み取りすべて送信する（先頭を 4 と比較し 1 つ進み、5 と比較し次に進み、カーソルを先頭に戻しすべて送信する）

なおかつ、先頭 45 以外のバーコードは読み取らない

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→FE 34 FE 35→F7→F1 00→保存→データフォーマッター 許可 要求する プリフィクス サフィックスあり

メモ 4 の Hex 値=34

5 の Hex 値=35

データ(Code128) : 4512345678906 → 設定後 : 4512345678906 を送信する



4512345678906

メモ 先頭 45 以外のバーコードを読まないように設定するには、データフォーマッター 許可 要求するのメニューも読み取って下さい。設定しないと先頭 45 以外のバーコードも読み取ります。

数字の確認

EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。キャラクタが数字でない場合は、フォーマットを中止します。**Syntax = EC**

例 F1、EC の例

すべてのバーコードは先頭が数字のときのみ読み取りすべて送信する（先頭が数字ならすべて送信する）

なおかつ、先頭が数字以外のバーコードは読み取らない

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→EC→F1 00→保存→データフォーマッター 許可 要求する プリフィクス サフィックスあり

データ(Code128) : 4512345678906 → 設定後 : 4512345678906 を送信する



4512345678906

メモ 先頭が数字以外（英字など）のバーコードを読まないように設定するには、データフォーマッター 許可 要求するのメニューも読み取って下さい。

メモ データフォーマッター 許可 要求しない設定の場合、他のフォーマットが設定されていたらそのフォーマットが適用されます。

データフォーマット設定

13-2 データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）（続き）

*印は出荷時設定

(4) その他のコマンド（続き）

数字以外のキャラクタを確認

ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタ（英字、記号、制御文字）があることを確認します。キャラクタが数字以外のキャラクタでない場合、すなわち数字の場合は、フォーマットを中止します。**Syntax = ED**

例 F1、F5、F7、ED の例

すべてのバーコードは 11 桁目が数字以外（英字、記号、制御文字）のときのみ読み取りすべて送信する（下記のように「A」なら送信する）

なおかつ、11 桁目が数字のときバーコードは読み取らない

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F5 11→ED→F7→→F1 00→保存→データフォーマッター 許可 要求する プリフィクス サフィックスあり

データ(Code128) : 1234567890ABCDEFGHIJ → 設定後 : 1234567890ABCDE を送信する



メモ 11 桁目が数字のバーコードを読み取らないように設定するには データフォーマッター 許可 要求するのメニューも読み取って下さい。

メモ データフォーマッター 許可 要求しない設定の場合、他のフォーマットが設定されていたらそのフォーマットが適用されます。

ディレイを挿入する

EF 現在のカーソル位置にディレイ（送信時間の遅延）を挿入します。**Syntax = EFnnnn**。

nnnn は 0000 から 9999 まで設定します。値の単位は 5 ミリ秒です（0000=0 ミリ秒、9999=49.995 ミリ秒）。

メモ FE コマンドは USB シリアルインターフェースには無効です。

例 F1、F2、EF の例

すべてのバーコードは 10 桁目の次に Tab を送信し、ディレイを 2000 ミリ秒送信、残りをすべて送信する。

データフォーマット設定開始→0→099→99→9999→F2 10 09→EF0400→F1 00→保存

メモ 2000 ミリ秒の設定値=400

データ(Code128) : 1234567890ABCDEFGHIJ

→ 設定後 : 1234567890 Tab ディレイ 2000 ミリ秒 ABCDEFGHIJ を送信する



第 14 章 バーコードの読取設定

バーコードの読取設定

14-1 すべてのシンボル

*印は出荷時設定

お使いのスキヤナで読み取り可能なシンボルをすべて読み取りたい場合はすべてのシンボル 許可のバーコードを読み取りません。いっぽう、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、すべてのシンボル 禁止を読み取り、その後その特定シンボルに対して読取 許可を読み取ります。

メモ すべてのシンボル 読取許可を設定すると読取性能が低下する場合があります。必要な場合に設定して下さい。

メモ スキヤナの読取効率を向上するにはすべてのシンボル 読取禁止を設定、必要なシンボルのみ読取許可に設定して下さい。



すべてのシンボル 読取許可



すべてのシンボル 読取禁止

注意 すべてのシンボル許可を設定しても 2 次元郵便コードは読取許可になりません。2 次元郵便コードは別途、読取許可を設定して下さい。

14-2 読取桁数の設定

バーコードシンボルによっては、読取桁数を設定できます。読み取ったバーコードの桁数が読取桁数と一致しなければ、エラーブザーが鳴ります。最小と最大を同じ値に設定すると、その桁数のみ読み取ります。

例 9桁から20桁までのバーコードのみ読み取る。 最小：09 最大：20

例 15桁のバーコードのみ読み取る。 最小：15 最大：15

初期設定の最小および最大読取桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコードを読み取り、次に付録G 英数メニューの数値と保存のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボルの説明を参照して下さい。

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-3 Codabar (NW7)

*印は出荷時設定



Codabar (NW7) の全設定 初期化

Codabar (NW7) 読取許可/禁止



*読取許可



読取禁止

Codabar (NW7) スタート/ストップ

スタート/ストップ送信するは Codabar の前後にあるスタート/ストップ(通常は a,b,c,d いずれか)を送信します。



送信する



*送信しない

Codabar (NW7) チェックキャラクタ (モジュラス16)

チェックキャラクタなしは、チェックキャラクタの有無に関わらず Codabar (NW7)を読み取ります。

チェックキャラクタ確認する,送信しないは、モジュラス 16 のチェックキャラクタがある Codabar (NW7)のみ読み取り、かつ、チェックキャラクタを送信しません。

チェックキャラクタ確認する,送信するは、モジュラス 16 のチェックキャラクタがある Codabar (NW7)のみ読み取り、かつ、チェックキャラクタを送信します。



*チェックキャラクタなし



チェックキャラクタ確認する,
送信しない



チェックキャラクタ確認する,
送信する

メモ Codabar のチェックキャラクタの計算方式は複数存在しますが、本製品が対応する方式はモジュラス 16 です。

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-3 Codabar (NW7) (続き)

*印は出荷時設定

Codabar (NW7) 連結機能

Codabar (NW7) は、シンボルの連結をサポートします。連結機能を許可にすると、スキャナは「D」のスタートキャラクターがあり、「D」のストップキャラクターがあるCodabarに隣接するCodabarを検索します。この場合、2つのデータは1つに連結され、「D」キャラクターは省略されます。

要求するを設定すると、「D」のスタートキャラクターがあるCodabarは隣接するCodabarを要求するようになり、単独で読み取らなくなります。D以外のスタートキャラクターのCodabarは読み取ります。

サンプル



Codabar (NW7) 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:2~60 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=60

ご案内 Codabar (NW7) の設定可能な最小読取桁数は2桁です。



メモ 下記設定メニューで Codabar (NW7) 最小読取桁数 2 桁に設定できます。



CBRMIN2.

Codabar (NW7) 最小読取桁数 2 桁

14-4 Code 39

*印は出荷時設定



C39DFT.
Code 39 の全設定 初期化

Code 39 読取許可/禁止



C39ENA1.
*読取許可



C39ENA0.
読取禁止

Code 39 スタート/ストップ

スタート/ストップ送信するは Code 39 の前後にあるスタート/ストップ *を送信します。



C39SSX1.
送信する



C39SSX0.
*送信しない

Code 39 チェックキャラクタ

チェックキャラクタなしは、チェックキャラクタの有無に関わらず Code 39 を読み取ります。

チェックキャラクタ確認する,送信しないは、チェックキャラクタがある Code 39 のみ読み取り、かつ、チェックキャラクタを送信しません。

チェックキャラクタ確認する,送信するは、チェックキャラクタがある Code 39 のみ読み取り、かつ、チェックキャラクタを送信します。



C39CK20.
*チェックキャラクタなし



C39CK21.
チェックキャラクタ確認,
送信しない



C39CK22.
チェックキャラクタ確認,
送信する

メモ Code 39 のチェックキャラクタの計算方式はモジュラス 43 です。

14-4 Code 39 (続き)

*印は出荷時設定

Code 39 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:0~48 最小の初期設定値=0 最大の初期設定値=48



Code 39 連結機能

許可を設定すると、1桁目がスペースのCode 39を読み取ると一時的にスキャナに保存します。1桁目がスペース以外のCode 39を読み取ったとき、それまでに読み取った順でデータを1つに連結して送信します。送信時、スペースは削除されます。



Code 32 Pharmaceutical (PARAF) 読取

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます



14-4 Code 39 (続き)

*印は出荷時設定

Full ASCII

Full ASCII 許可を設定すると、Code 39の一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」はASCIIキャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」として送信されます。

NUL	%U	DLE	\$P	SP	SPACE	0	0	@	%V	P	P	'	%W	p	+P
SOH	\$A	DC1	\$Q	!	/A	1	1	A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
STX	\$B	DC2	\$R	"	/B	2	2	B	B	R	R	b	+B	r	+R
ETX	\$C	DC3	\$S	#	/C	3	3	C	C	S	S	c	+C	s	+S
EOT	\$D	DC4	\$T	\$	/D	4	4	D	D	T	T	d	+D	t	+T
ENQ	\$E	NAK	\$U	%	/E	5	5	E	E	U	U	e	+E	u	+U
ACK	\$F	SYN	\$V	&	/F	6	6	F	F	V	V	f	+F	v	+V
BEL	\$G	ETB	\$W	'	/G	7	7	G	G	W	W	g	+G	w	+W
BS	\$H	CAN	\$X	(/H	8	8	H	H	X	X	h	+H	x	+X
HT	\$I	EM	\$Y)	/I	9	9	I	I	Y	Y	i	+I	y	+Y
LF	\$J	SUB	\$Z	*	/J	:	/Z	J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
VT	\$K	ESC	%A	+	/K	;	%F	K	K	[%K	k	+K	{	%P
FF	\$L	FS	%B	,	/L	<	%G	L	L	\	%L	l	+L		%Q
CR	\$M	GS	%C	-	-	=	%H	M	M]	%M	m	+M	}	%R
SO	\$N	RS	%D	.	.	>	%I	N	N	^	%N	n	+N	~	%S
SI	\$O	US	%E	/	/O	?	%J	O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。

「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASC1.
Full ASCII 許可



C39ASC0.
*Full ASCII 禁止

Code 39コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C39DCP.
Code 39 コードページ

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-5 Interleaved 2 of 5 (ITF)

*印は出荷時設定



I25DFT.

Inerleaved 2 of 5 の全設定 初期化

Interleaved 2 of 5 読取許可/禁止



I25ENA1.

*読取許可



I25ENA0.

読取禁止

Interleaved 2 of 5 チェックデジット

チェックデジットなしは、チェックデジットの有無に関わらず Interleaved 2 of 5 を読み取ります。

チェックデジット確認する,送信しないは、チェックデジットがある Interleaved 2 of 5 のみ読み取り、かつ、チェックデジットを送信しません。

チェックデジット確認する,送信するは、チェックデジットがある Interleaved 2 of 5 のみ読み取り、かつ、チェックデジットを送信します。



I25CK20.

*チェックデジットなし



I25CK21.

チェックデジット確認,
送信しない



I25CK22.

チェックデジット確認,
送信する

Interleaved 2 of 5 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:2~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



I25MIN.

最小



I25MAX.

最大

14-6 NEC 2 of 5

*印は出荷時設定



N25DFT.

NEC 2 of 5 の全設定 初期化

NEC 2 of 5 読取許可/禁止



N25ENA1.

*読取許可



N25ENA0.

読取禁止

NEC 2 of 5 チェックデジット

チェックデジットなしは、チェックデジットの有無に関わらず Interleaved 2 of 5 を読み取ります。

チェックデジット確認する,送信しないは、チェックデジットがある Interleaved 2 of 5 のみ読み取り、かつ、チェックデジットを送信しません。

チェックデジット確認する,送信するは、チェックデジットがある Interleaved 2 of 5 のみ読み取り、かつ、チェックデジットを送信します。



N25CK20.

*チェックデジットなし



N25CK21.

チェックデジット確認,
送信しない

N25CK22.

チェックデジット確認,
送信する

NEC 2 of 5 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:2~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



N25MIN.

最小



N25MAX.

最大

14-7 Code 93

*印は出荷時設定



Code 93 の全設定 初期化

Code 93 読取許可/禁止

メモ 出荷時のカスタムデフォルトは読取禁止です (第9章 カスタムデフォルト設定を参照)



*読取許可



読取禁止

Code 93 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:0~80 最小の初期設定値=0 最大の初期設定値=80



最小



最大

Code 93 連結機能

許可を設定すると、1桁目がスペースのCode 93を読み取ると一時的にスキャナに保存します。1桁目がスペース以外のCode 93を読み取ったとき、それまでに読み取った順でデータを1つに連結して送信します。送信時、スペースは削除されます。



許可



*禁止

Code 93コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



Code 93 コードページ

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-8 Straight 2 of 5 Industrial (3バー スタート/ストップ)

*印は出荷時設定



R25DFT.

Straight 2 of 5Industrial の全設定 初期化

Straight 2 of 5 Industrial 読取許可/禁止



R25ENA1.

読取許可



R25ENA0.

*読取禁止

Straight 2 of 5 Industrial 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~48 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=48



R25MIN.

最小



R25MAX.

最大

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-9 Straight 2 of 5 IATA (2バー スタート/ストップ)

*印は出荷時設定



A25DFT.

Straight 2 of 5IATA の全設定 初期化

Straight 2 of 5 IATA 読取許可/禁止



A25ENA1.

読取許可



A25ENA0.

*読取禁止

Straight 2 of 5 IATA 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~48 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=48



A25MIN.

最小



A25MAX.

最大

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-10 Matrix 2 of 5

*印は出荷時設定



Matrix 2 of 5IATA の全設定 初期化

Matrix 2 of 5 読取許可/禁止



Matrix 2 of 5 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-11 Code 11

*印は出荷時設定



C11DFT.
Code 11 の全設定 初期化

Code 11 読取許可/禁止



C11ENA1.
読取許可



C11ENA0.
*読取禁止

Code 11 チェックデジット要求

Code11 のチェックデジットが1つか2つかを設定します。



C11CK20.
チェックデジット1つ



C11CK21.
*チェックデジット2つ

Code 11 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



C11MIN.
最小



C11MAX.
最大

14-12 Code 128

*印は出荷時設定



Code 128 の全設定 初期化

Code 128 読取許可/禁止

128ENA1.
*読取許可128ENA0.
読取禁止

ご案内 GS1-128 の設定は 14-13 GS1-128 を参照して下さい。

Code 128 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:0~80 最小の初期設定値=0 最大の初期設定値=80

128MIN.
最小128MAX.
最大

Code 128 連結機能

許可を設定すると、連結キャラクタ(Code128 Code A,BのFNC2)を含むCode 128を読み取ると一時的にスキャナに保存します。連結キャラクタを含まないCode 128を読み取ったとき、それまでに読み取った順でデータを1つに連結して送信します。送信時、連結キャラクタは削除されます。

128APP1.
許可128APP0.
*禁止

14-12 Code 128 (続き)

*印は出荷時設定

ISBT 128 連結機能

(ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です)



Code 128コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



Code 128 コードページ

14-13 GS1-128

*印は出荷時設定



GS1-128 の全設定 初期化

GS1-128 読取許可/禁止



*読取許可



読取禁止

ご案内 AIによるデータ編集は付録D GS1 データ編集設定を参照して下さい。

ご案内 Code 128 の設定は 14-12 Code 128 を参照して下さい。

GS1-128 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~80 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=80



最小



最大

14-14 UPC-A

*印は出荷時設定



UPADFT.

UPC-A の全設定 初期化

UPC-A 読取許可/禁止



UPBENA1.

*読取許可



UPBENA0.

読取禁止

UPC-AからEAN-13/JAN-13変換

UPC-A の先頭に 0(ゼロ)を追加し 13 桁で送信します。

ご案内 先頭が 0 の JAN-13 を 13 桁で送信するには「変換する」を設定して下さい。

UPAENA1.

*変換しない



UPAENA0.

変換する

UPC-A チェックデジット



UPACKX1.

*送信する



UPACKX0.

送信しない

UPC-A ナンバーシステム



UPANSX1.

*送信する



UPANSX0.

送信しない

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-14 UPC-A (続き)

*印は出荷時設定

UPC-A アドオン



UPAAD21.
アドオン2桁 許可



UPAAD20.
*アドオン2桁 禁止



UPAAD51.
アドオン5桁 許可



UPAAD50.
*アドオン5桁 禁止

UPC-A アドオン要求

要求するは、アドオンがあるUPC-Aのみ読み取ります。



UPAARQ1.
要求する



UPAARQ0.
*要求しない

UPC-A アドオンセパレータ

許可はUPC-Aとアドオンの間にスペースキャラクタを送信します。禁止はスペースを送信しません。



UPAADS1.
*許可



UPAADS0.
禁止

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-14 UPC-A (続き)

*印は出荷時設定

拡張クーポンコード付きUPC-A /EAN-13

許可はUPC-A/EAN-13と拡張クーポンコードの両方が認識されたとき1つのデータに連結して送信します。要求するはUPC-A/EAN-13と拡張クーポンコードの両方の認識が必要になります。



CPNENA0.

*禁止



CPNENA1.

許可



CPNENA2.

要求する

クーポンGS1データバー出力

許可はクーポンがUPCとGS1データバーで表示されているとき、GS1データバーのみ出力します。



CPNGS10.

*禁止



CPNGS11.

許可

14-15 UPC-E

*印は出荷時設定



UPEDFT.
UPC-E の全設定 初期化

UPC-E0 読取許可/禁止



UPEEN01.
*UPC-E0 読取許可



UPEEN00.
UPC-E0 読取禁止

UPC-E0拡張

許可は UPC-E0 を UPC-A 12 桁に拡張します。



UPEEXP1.
許可



UPEEXP0.
*禁止

UPC-E0 チェックデジット



UPECKX1.
*送信する



UPECKX0.
送信しない

UPC-E0 ナンバーシステム



UPENSX1.
*送信する



UPENSX0.
送信しない

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-15 UPC-E (続き)

*印は出荷時設定

UPC-E アドオン



UPEAD21.
アドオン2桁 許可



UPEAD20.
*アドオン2桁 禁止



UPEAD51.
アドオン5桁 許可



UPEAD50.
*アドオン5桁 禁止

UPC-E アドオン要求

要求するは、アドオンがあるUPC-Eのみ読み取ります。



UPEARQ1.
要求する



UPEARQ0.
*要求しない

UPC-E アドオンセパレータ

許可はUPC-Eとアドオンの間にスペースキャラクタを送信します。禁止はスペースを送信しません。



UPEADS1.
*許可



UPEADS0.
禁止

UPC-E1 読取許可/禁止

通常、UPC-Eの先頭は0のUPC-E0です。先頭が1のUPC-Eを読み取るときはUPC-E1読取許可を設定します。



UPEEN11.
UPC-E1 読取許可



UPEEN10.
*UPC-E1 読取禁止

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-16 EAN-13/JAN-13

*印は出荷時設定



E13DFT.

EAN-13/JAN-13 の全設定 初期化

EAN-13/JAN-13 読取許可/禁止



E13ENA1.

*読取許可



E13ENA0.

読取禁止

ご案内 先頭が0のJAN-13を13桁で送信するにはUPC-Aの設定「UPC-AからEAN-13/JAN-13変換」の「変換する」を設定して下さい。

EAN-13/JAN-13 チェックデジット



E13CKX1.

*送信する



E13CKX0.

送信しない

ISBN変換

EAN-13/JAN-13をISBN形式に変換します。



E13ISB1.

変換する



E13ISB0.

*変換しない

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-16 EAN-13/JAN-13 (続き)

*印は出荷時設定

EAN-13/JAN-13 アドオン



E13AD21.

アドオン2桁 許可



E13AD20.

*アドオン2桁 禁止



E13AD51.

アドオン5桁 許可



E13AD50.

*アドオン5桁 禁止

EAN-13/JAN-13 アドオン要求

要求するは、アドオンがあるEAN-13/JAN-13のみ読み取ります。



E13ARQ1.

要求する



E13ARQ0.

*要求しない

EAN-13/JAN-13 アドオンセパレータ

許可はEAN-13/JAN-13とアドオンの間にスペースキャラクタを送信します。禁止はスペースを送信しません。



E13ADS1.

*許可



E13ADS0.

禁止

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-17 EAN-8/JAN-8

*印は出荷時設定



EA8DFT.

EAN-8/JAN-8 の全設定 初期化

EAN-8/JAN-8 読取許可/禁止



EA8ENA1.

*読取許可



EA8ENA0.

読取禁止

ご案内 先頭が0のJAN-13を13桁で送信するにはUPC-Aの設定「UPC-AからEAN-13/JAN-13変換」の「変換する」を設定して下さい。

EAN-8/JAN-8 チェックデジット



EA8CKX1.

*送信する



EA8CKX0.

送信しない

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-17 EAN-8/JAN-8 (続き)

*印は出荷時設定

EAN-8/JAN-8 アドオン



EABAD21.
アドオン2桁 許可



EABAD20.
*アドオン2桁 禁止



EABAD51.
アドオン5桁 許可



EABAD50.
*アドオン5桁 禁止

EAN-8/JAN-8 アドオン要求

要求するは、アドオンがあるEAN-8/JAN-8のみ読み取ります。



EABARQ1.
要求する



EABARQ0.
*要求しない

EAN-8/JAN-8 アドオンセパレーター

許可はEAN-8/JAN-8とアドオンの間にスペースキャラクタを送信します。禁止はスペースを送信しません。



EABADS1.
*許可



EABADS0.
禁止

14-18 MSI

*印は出荷時設定



MSI の全設定 初期化

MSI 読取許可/禁止



*読取許可



読取禁止

MSI 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:4~48 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=48



最小



最大

14-18 MSI (続き)

*印は出荷時設定

MSI チェックキャラクタ



MSICLK0.

*タイプ 10 確認、送信しない



MSICLK1.

タイプ 10 確認、送信する



MSICLK2.

タイプ 10 2つ確認、送信しない



MSICLK3.

タイプ 10 2つ確認、送信する



MSICLK4.

タイプ 11、タイプ 10 確認、送信しない



MSICLK5.

タイプ 11、タイプ 10 確認、送信する



MSICLK6.

チェックキャラクタなし

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-19 GS1データバー標準型（オムニディレクショナル）

*印は出荷時設定



RSSDFT.

GS1 データバー標準型の全設定 初期化

GS1データバー標準型 読取許可/禁止

メモ 読取許可は、GS1データバー標準型、GS1データバー切詰型、GS1データバー二層型、GS1データバー標準二層型を読み取るようになります。

メモ 出荷時のカスタムデフォルトは読取禁止です（第9章 カスタムデフォルト設定を参照）



RSSENA1.

*読取許可



RSSENA0.

読取禁止

ご案内 AIによるデータ編集は付録D GS1 データ編集設定を参照して下さい。

ご案内 GS1データバー二層型型合成シンボルCC-Aを読み取るには「14-26 GS1合成シンボル」も読取許可に設定して下さい。

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-20 GS1データバー限定型（リミテッド）

*印は出荷時設定



RSLDFT.

GS1 データバー限定型の全設定 初期化

GS1データバー限定型 読取許可/禁止

メモ 出荷時のカスタムデフォルトは読取禁止です（第9章 カスタムデフォルト設定を参照）



RSLENA1.

*読取許可



RSLENA0.

読取禁止

ご案内 AIによるデータ編集は付録D GS1 データ編集設定を参照して下さい。

ご案内 GS1データバー限定型合成シンボルCC-Aを読み取るには「14-26 GS1合成シンボル」も読取許可に設定して下さい。

バーコードの読取設定 1次元バーコード

14-21 GS1データバー拡張型（エクспанデッド）

*印は出荷時設定



RSEDFT.

GS1 データバー拡張型の全設定 初期化

GS1データバー拡張型 読取許可/禁止

メモ 読取許可は、GS1データバー拡張型、GS1データバー拡張多層型を読み取るようになります。

メモ 出荷時のカスタムデフォルトは読取禁止です（第9章 カスタムデフォルト設定を参照）



RSEENA1.

*読取許可



RSEENA0.

読取禁止

ご案内 AIによるデータ編集は付録D GS1 データ編集設定を参照して下さい。

GS1データバー拡張型 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:4~74 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=74



RSEMIN.

最小



RSEMAX.

最大

14-22 Codablock A

*印は出荷時設定



CBADFT.

Codablock A の全設定 初期化

Codablock A 読取許可/禁止



CBAENA1.

読取許可



CBAENA0.

*読取禁止

Codablock A 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~600 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=600



CBAMIN.

最小



CBAMAX.

最大

14-23 Codablock F

*印は出荷時設定



CBFDFT.

Codablock F の全設定 初期化

Codablock F 読取許可/禁止



CBFENA1.

読取許可



*CBFENA0.

*読取禁止

Codablock F 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~2048 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=2048



*CBFMIN.

最小



*CBFMAX.

最大

14-24 PDF417

*印は出荷時設定



PDFDFT.
PDF417 の全設定 初期化

PDF417 読取許可/禁止



PDFENA1.
*読取許可



PDFENA0.
読取禁止

PDF417 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~2750 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=2750



PDFMIN.
最小



PDFMAX.
最大

MacroPDF417 読取許可/禁止

MacroPDF417は1つのデータを複数のシンボルに分割したPF417です。許可は、複数のMacroPDF417をすべて読み取ってから1つのデータとして送信します。



PDFMAC1.
許可



PDFMAC0.
禁止

14-25 MicroPDF417

*印は出荷時設定



MPDDFT.

MicroPDF417 の全設定 初期化

MicroPDF417 読取許可/禁止



MPDENA1.

*読取許可



MPDENA0.

読取禁止

MicroPDF417 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~366 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=366



MPDMIN.

最小



MPDMAX.

最大

TCIF Linked Code 39 (TLC39) 読取許可/禁止

TLC39 は MicroPDF417 と Code 39 を合成したシンボルです。



T39ENA1.

読取許可



T39ENA0.

*読取禁止

バーコードの読取設定 2次元バーコード

14-26 GS1合成シンボル (GS1 Composite)

*印は出荷時設定

GS1合成シンボル 読取許可/禁止

GS1合成シンボルはMicroPDF417（またはその変形版）とUPC/EAN/GS1-128/GS1データバーを合成したバーコードです。

メモ 出荷時に読取許可に設定しています。初期設定は読取禁止です。



ご案内 AIによるデータ編集は付録D GS1 データ編集設定を参照して下さい。

UPC/EANバージョン

UPC/EANを含むGS1合成シンボルを読み取る場合、GS1合成シンボルを読取許可に設定し、下記の許可を設定して下さい。

GS1-128、GS1の1次元バーコードの読取には影響しません。



GS1合成シンボル 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~2435 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=2435

ご案内 GS1合成シンボル 読取桁数を有効にするには14-27 GS1エミュレーションをGS1エミュレーション無しに設定して下さい。



14-27 GS1エミュレーション

*印は出荷時設定

GS1エミュレーション

GS1-128エミュレーションは小売コード（UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8）を16桁に拡張します。AIM IDはGS1-128の]C1となります。

GS1-128データバーエミュレーションは小売コード（UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8）を16桁に拡張します。AIM IDはGS1データバーの]emとなります。

GS1コード拡張オフは小売コードを拡張しなくなります。UPC-Eの拡張はUPCE-0拡張の設定によって制御されます。AIM IDはGS1-128の]C1となります。

EAN-8 から EAN-13 に変換するはすべての EAN-8 を EAN-13 形式に変換します。

メモ 出荷時にGS1コード拡張オフに設定しています。初期設定はGS1エミュレーション無しです。



EANEMU1.

GS1-128 エミュレーション



EANEMU2.

GS1 データバーエミュレーション



EANEMU3.

GS1 コード拡張オフ



EANEMU4.

EAN-8 から EAN-13 に変換する



EANEMU0.

*GS1 エミュレーション無し

ご案内 14-2 GS1合成シンボル

読取桁数を有効にするにはGS1エミュレーション無しに設定して下さい。

14-28 QRコード

*印は出荷時設定



QRCDFT.

QRコードの全設定 初期化

QRコード 読取許可/禁止



QRCENA1.

*読取許可



QRCENA0.

読取禁止

QRコード 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~7089 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=7089



QRCMIN.

最小



QRCMAX.

最大

14-28 QRコード（続き）

*印は出荷時設定

QRコード 連結機能

1つのデータを複数に分割した連結QRコード（構造的接続の情報を含めて作成したQRコード）の読み取り方の設定です。

1スキャンは1回のトリガーですべての連結QRコードを認識したら読み取り、1つのデータを送信します。

連結QRコードの表示範囲が広いときはスキャナの視界に入りきらず、1スキャンで認識しません。その場合、スワイプまたは1個ずつ読み取りを設定して下さい。

スワイプはトリガーを押したままスキャナを動かして、すべてのQRを認識したら1つのデータを送信します。

1個ずつスキャンはQRを1個ずつトリガーで読み取り、すべてのQRを認識したら1つのデータを送信します。

禁止はデータを連結しません。



QRCAPP1.

*1 スキャン



QRCAPP2.

スワイプ



QRCAPP3.

1個ずつスキャン



QRCAPP0.

禁止

QRコードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



QRCD0P.

QRコード コードページ

14-29 Data Matrix

*印は出荷時設定



Data Matrix の全設定 初期化

Data Matrix 読取許可/禁止



*読取許可



読取禁止

Data Matrix 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~3116 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=3116



最小



最大

Data Matrix コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



Data Matrix コードページ

14-30 Maxi Code

*印は出荷時設定



Maxi Code の全設定 初期化

Maxi Code 読取許可/禁止



MAXENA1.

読取許可



MAXENA0.

*読取禁止

Maxi Code 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~150 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=150



MAXMIN.

最小



MAXMAX.

最大

14-31 Aztec Code

*印は出荷時設定



AZTDFT.

Aztec Code の全設定 初期化

Aztec Code 読取許可/禁止



AZTENA1.

*読取許可



AZTENA0.

読取禁止

Aztec Code 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~3882 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=3882



AZTMIN.

最小



AZTMAX.

最大

14-31 Aztec Code (続き)

*印は出荷時設定

Aztec Code 連結機能

1つのデータを複数に分割したAztec Codeの読み取り方の設定です。

1スキャンは1回のトリガーですべてのAztec Codeを認識したら読み取り、1つのデータを送信します。

連結QRコードの表示範囲が広いときはスキャナの視界に入りきらず、1スキャンで認識しません。その場合、スワイプまたは1個ずつ読み取りを設定して下さい。

スワイプはトリガーを押したままスキャナを動かして、すべてのAztec Codeを認識したら1つのデータを送信します。

1個ずつスキャンはAztec Code を1個ずつトリガーで読み取り、すべてのAztec Codeを認識したら1つのデータを送信します。

禁止はデータを連結しません。



AZTAPP1.
*1 スキャン



AZTAPP2.
スワイプ



AZTAPP3.
1個ずつスキャン



AZTAPP0.
禁止

Aztec Code コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（付録C ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 参照）、付録G 英数メニューから値と保存のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.
Aztec Code コードページ

バーコードの読取設定 2次元バーコード

14-32 中国郵便漢信コード (Chinese Sensible, Han Xin Code)

*印は出荷時設定



HX_DFT.

漢信コードの全設定 初期化

漢信コード 読取許可/禁止



HX_ENA1.

読取許可



HX_ENA0.

*読取禁止

漢信コード 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:1~7833 最小の初期設定値=1 最大の初期設定値=7833



HX_MIN.

最小



HX_MAX.

最大

バーコードの読取設定 2次元郵便コード

14-33 2次元郵便コード

*印は出荷時設定

下記の設定コードを読み取り、読み取り可能な2次元郵便コードを設定します。シングル（1種類を読取許可）またはコンビネーション（複数種類を読取許可）から1つのみ設定できます。



POSTAL0.

2次元郵便コード 読取禁止

1種類読取許可



POSTAL1.

オーストラリア郵便 許可



POSTAL7.

イギリス郵便 許可



POSTAL30.

カナダ郵便 許可



POSTAL10.

Intelligent Mail バーコード 許可



POSTAL3.

日本郵便 許可



POSTAL4.

KIX 許可



POSTAL5.

Planet Code 許可



POSTAL9.

Postal-4i 許可



POSTAL6.

Postnet 許可



POSTAL11.

Postnet B B'フィールド付き 許可



POSTAL2.

Info Mail 許可

14-33 二次元郵便コード（続き）

*印は出荷時設定

複数種類の読取許可



POSTAL8.

Info Mail とイギリス郵便 許可



POSTAL20.

Intelligent Mail バーコードと Postnet B
B' フィールド付き 許可

POSTAL14.

Postnet と Postal-4i 許可



POSTAL16.

Postnet と Intelligent Mail バーコード
許可

POSTAL17.

Postal-4i と Intelligent Mail バーコード
許可

POSTAL19.

Postal-4i と Postnet B B' フィールド
付き 許可

POSTAL12.

Planet と Postnet 許可



POSTAL18.

Planet と Postnet B B' フィールド付
き 許可

POSTAL13.

Planet と Postal-4i 許可



POSTAL15.

Planet と Intelligent Mail バーコード 許
可

POSTAL21.

Planet, Postnet と Postal-4i 許可



POSTAL22.

Planet, Postnet と Intelligent Mail バーコ
ード 許可

バーコードの読取設定 2次元郵便コード

14-33 2次元郵便コード（続き）

*印は出荷時設定

複数種類の読取許可（続き）



POSTAL23.

Planet,Postal-4i と Intelligent Mail バー
コード 許可



POSTAL24.

Postnet,Postal-4i と Intelligent Mail バー
コード 許可



POSTAL25.

Planet,Postal-4i と Postnet B B' フィ
ールド付き 許可



POSTAL26.

Planet,Intelligent Mail バーコードと
Postnet B B' フィールド付き 許可



POSTAL27.

Postal-4i, Intelligent Mail バーコードと
Postnet B B' フィールド付き 許可



POSTAL28.

Planet,Postal-4i, Intelligent Mail バーコ
ードと Postnet 許可



POSTAL29.

Planet,Postal-4i, Intelligent Mail バーコ
ードと Postnet B B' フィールド付き許
可

バーコードの読取設定 二次元郵便コード

14-33 二次元郵便コード（続き）

*印は出荷時設定

Planet Code チェックデジット



PLNCKX1.

送信する



PLNCKX0.

*送信しない

Postnet チェックデジット



NETCKX1.

送信する



NETCKX0.

*送信しない

オーストラリア郵便 解釈



AUSINT0.

*バー出力



AUSINT1.

数字 N テーブル



AUSINT2.

英数字 C テーブル



AUSINT3.

N と C の組み合わせ

バーコードの読取設定 1次元郵便コード

14-34 1次元郵便コード 中国郵便コード (香港 2 of 5)

*印は出荷時設定



CPCDFT.

中国郵便コードの全設定 初期化

中国郵便コード (香港 2 of 5) 読取許可/禁止



CPCENA1.

読取許可



CPCENA0.

*読取禁止

中国郵便コード (香港 2 of 5) 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:2~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



CPCMIN.

最小



CPCMAX.

最大

バーコードの読取設定 1次元郵便コード

14-35 1次元郵便コード 韓国郵便コード

*印は出荷時設定



KPCDFT.

韓国郵便コードの全設定 初期化

韓国郵便コード 読取許可/禁止



KPCENA1.

読取許可



KPCENA0.

*読取禁止

韓国郵便コード 読取桁数

設定方法は14-2「読取桁数の設定」を参照してください。

設定範囲:2~80 最小の初期設定値=4 最大の初期設定値=80



KPCMIN.

最小



KPCMAX.

最大

韓国郵便コード チェックデジット



KPCCHK1.

送信する



KPCCHK0.

*送信しない

第 15 章 ユーティリティ

ユーティリティ

*印は出荷時設定

プリフィックスにコード ID を追加（一時的な設定）

この設定メニューを読むと、現在のプリフィックスをすべて消去し、すべてのシンボルについてコード ID プリフィックスを追加します。シンボルごとのコード ID は付録 A シンボル一覧表（コード ID 表）を参照してください。なお、この設定は電源を入れなおすと削除される一時な設定です。読み取るバーコードの種類が不明なときなどに使用するテスト向けの設定です。



プリフィックスにコード ID を追加（一時的な設定）

デコーダ リビジョン表示

スキャナのデコーダのバージョン情報を送信します



スキャンドライバ リビジョン表示

スキャナのイメージドライバのバージョン情報を送信します



ソフトウェア リビジョン表示

スキャナ内部のソフトウェアなどのバージョン情報を送信します



データフォーマットの内容表示

スキャナに設定したデータフォーマットの情報を送信します



ユーティリティ

ユーティリティ (続き)

*印は出荷時設定

設定メニューの内容表示

設定メニューの文字を送信します。設定も反映します。通常は禁止に設定したまま使用してください。



カスタムデフォルトの削除 (工場出荷時設定に戻す)

カスタムデフォルト削除を読み取り、次に、デフォルトの有効化を読み取ると、スキャナは工場出荷時設定に戻ります。

メモ 第9章 カスタムデフォルトの「初期設定」メニューは当社のカスタムデフォルトを保存しています。カスタムデフォルトの削除を行うと当社のカスタムデフォルトおよびその他の設定も削除します。

メモ デフォルトの有効化とカスタムデフォルト起動は同じメニューです。



メモ 「初期設定」と「工場出荷時設定 (カスタムデフォルト削除→デフォルトの有効化)」の内容は次の通りです。

メモ ブザー音程について、初期設定 (当社カスタムデフォルト) を変更いたしました。(2018年11月頃出荷分から)

設定項目	初期設定 (当社カスタムデフォルト+その他)	工場出荷時設定 (カスタムデフォルト削除)
ブザー音程 読取成功時	2731Hz(BEPFQ12731.)	2400Hz(BEPFQ12400.)
サフィックス	全てのシンボルに CR サフィックス追加 (カスタムデフォルトに設定します)	無し
Code 93、GS1 データバー (標準型、限定型、拡張型)	読取禁止 (カスタムデフォルトに設定します)	読取許可
GS1 合成シンボル	読取許可 (但しカスタムデフォルトではなく通常設定)	読取禁止
GS1 エミュレーション	GS1 コード拡張オフ (但しカスタムデフォルトではなく通常設定)	GS1 エミュレーションなし



「初期設定」のコマンド

MNUCDP;DEFOVR;BEPFQ12731;C93ENA0;RSSENA0;RSLENA0;RSEENA0;VSUFQR;MNUCDS;
DEFAULT;COMENA1;EANEMU3.

(9-3 と同じ) 初期設定

第 16 章 シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンド

ご案内 この章は技術者向けの説明です。USBシリアル設定時の動作です。

16-1 シリアルプログラミングコマンドについて

スキャナが USB シリアルインターフェースのとき、ホストからスキャナに設定用のコマンドを送信して設定を行います。

汎用のターミナルエミュレーションソフトウェア（シリアル通信ソフト）を使用しシリアルポート（COM ポート）経由でプログラミングコマンドを送信すると、スキャナが設定されます。各シリアルプログラミングコマンドの説明と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

16-2 説明の規約

メニューと質問コマンドの記述には、以下の規約が用いられています。

Parameter	コマンドの一部として送信する実際の値を表わすラベル
[option]	コマンドのオプション部分
{data}	コマンド内の選択肢
Bold	画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

16-3 メニューコマンドシンタックス（構文）

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。

メモ スペースは単に見やすくするために用いています。

Prefix Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [: Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix	3 つの ASCII キャラクタ SYN M CR (Hex 16 4D 0D 、Dec 22 77 13)
Tag	希望のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。 例 バーコードタイプ Code 39 の設定は、すべて C39 という Tag で識別されます。
SubTag	タググループの中の希望のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。 例 Code 39 の読取許可/禁止の SubTag は ENA です。
Data	メニュー設定の新しい値。Tag と SubTag で識別されます。 例 Code 39 読取許可の Tag SubTag {Data} は C39ENA1 です。
Storage	コマンドを適用するストレージテーブルを指定する 1 つのキャラクタ。感嘆符 (!) は、機器の揮発性メニュー構成テーブル上でコマンド操作を実行します。ピリオド (.) は、機器の不揮発性メニュー構成テーブル上でコマンド操作を実行します。不揮発性テーブルは、始動時に保存したい半恒久的な変更だけに使用します。（簡単に説明すると、! は設定変更しますが電源が切れると設定は失われます。ピリオドは設定変更し電源を切っても設定は保存されています）

例 Code 39 の読取を許可に設定して保存するコマンド

ASCII なら	SYN M CR C39ENA1.
Hex なら	16 4D 0D 43 33 39 45 4E 41 31 2E
Dec なら	22 77 13 67 51 57 69 78 65 49 46

シリアルプログラミングコマンド

16-4 質問コマンド

質問コマンドをスキャナに送信するとスキャナが応答し、ホスト側にスキャナの設定内容を送信します。

- ^ 設定の初期値
- ? スキャナの現在の設定値
- * 設定で可能な範囲（機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧で項目を区切ります）

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

SubTag フィールドの使い方

SubTag フィールドに代わって質問を使用すると、Tag フィールドに一致する使用可能なコマンドのサブセットだけに質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data フィールドの使い方

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

- ACK 正しいコマンドを実行した
 - ENQ Tag または SubTag コマンドが無効
 - NAK コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの組み合わせの Tag および SubTag の許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けられないときに最小メッセージ長の入力が 100 になっている。
- 応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクターを挿入したコマンドシーケンスを返します。

シリアルプログラミングコマンド

16-4 質問コマンド（続き）

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ[]は非表示レスポンスを示します。

注 次の例の「入力」の前に Prefix の **SYN M CR** を付けてください。例 1 なら **SYN M CR cbrena*** と送信します。

例1：Codabar（NW-7）読取許可/禁止で可能な値の範囲は？

入力：cbrena*.

レスポンス：CBRENA0-1[ACK].

Codabar（NW-7）読取許可/禁止（CBRENA）の値の範囲が0～1（禁止と許可）であることを示します。

例2：Codabar（NW-7）読取許可/禁止の初期設定値は？

入力：cbrena^.

レスポンス：CBRENA1[ACK].

Codabar（NW-7）読取許可/禁止（CBRENA）の初期設定が1（許可）であることを示します。

例3：Codabar（NW-7）読取許可/禁止（CBRENA）に対するスキャナの現在の設定は？

入力：cbrena?.

レスポンス：CBRENA1[ACK].

Codabar（NW-7）読取許可/禁止（CBRENA）が1（許可）に設定されていることを示します。

例4：すべてのCodabar（NW-7）選択項目に対するスキャナの設定は？

入力：cbr?.

レスポンス：CBRDFT[ACK],

ENA1[ACK],

SSX0[ACK],

CK20[ACK],

CCT0[ACK],

MIN4[ACK],

MAX60[ACK],

VOT0[ACK].

Codabar（NW-7）について、初期設定（DFT）には値が無いこと、読取許可/禁止（ENA）は1（許可）、スタート/ストップキャラクタ（SSX）は0（送信しない）、チェックキャラクタ（CK2）は0（確認しない）、連結機能（CCT）は0（禁止）、最小読取桁数（MIN）は4、最大読取桁数（MAX）は60桁を示しています。

※VOT:スキャンポーティング

シリアルプログラミングコマンド

16-5 トリガーコマンド

スキャナがマニュアルトリガーモードのとき、スキャナはシリアルトリガーモードとして動作します。

シリアルトリガーモードでは、ホストからスキャナにトリガーコマンドを送信すると、スキャナを読み取り開始 (Activate) または読み取り停止 (Deactivate) にできます。

読み取り開始する (Activate) : ASCIIなら **SYN T CR** (Hexなら 16 54 0D)

読み取り停止する (Deactivate) : ASCIIなら **SYN U CR** (Hexなら 16 55 0D)

スキャナはバーコードを読み取るか、読み取り停止する (Deactivate) コマンドが送信されるか、シリアルトリガータイムアウトになるまで読み取りを実行します。

16-6 コマンドでのカスタムデフォルトの保存と削除

シリアルコマンドでカスタムデフォルトを保存または削除することができます。

例 すべてのシンボルに CR サフィックスを追加、Codabar スタートストップ送信するをカスタムデフォルトとして保存する
ASCII なら **SYN M CR MNUCDP;DEFOVR;VSUF CR;CBRSSX1;MNUCDS.**

MNUCDP はカスタムデフォルトの設定を開始、DEFOVR はカスタムデフォルト削除、VSUF CR は CR サフィックス追加、CBRSSX1 は Codabar のスタートストップ送信する、MNUCDS はカスタムデフォルトを保存して終了です。コマンドを;で連結します

メモ DEFOVR カスタムデフォルト削除を入れずに設定すると、保存済みのカスタムデフォルトに設定が追加されます。

メモ 設定後、カスタムデフォルト起動 (有効化) を設定して下さい。保存のみのままだと設定が反映されません。

ASCII なら **SYN M CR DEFAULT.**

16-7 スキャナのリセット

お使いのスキャナの設定の状態がわからない場合や、変更した設定を初期設定に戻したい場合は、次のカスタムデフォルト起動の設定メニューを読み取ります。

メモ カスタムデフォルトを保存していた場合、スキャナはカスタムデフォルトに戻ります。

カスタムデフォルトを保存していない場合、スキャナは工場出荷時の初期設定に戻ります。

カスタムデフォルトを削除して工場出荷時の初期設定に戻すにはカスタムデフォルトの削除の設定メニューを読み取り、デフォルトの有効化の設定メニューを読み取って下さい。

注意 工場出荷時の初期設定に戻るとUSB HIDキーボードインターフェース英語キーボード配列になり、USBシリアルではなくなります。ホストとのシリアル通信が失われますのでご注意ください。



*カスタムデフォルト起動

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド

*印は出荷時設定

下記はシリアルプログラミングコマンドの一覧です。

設定項目	選択項目	シリアルコマンド	参照章	
カスタムデフォルト設定				
初期設定	カスタムデフォルト設定開始	MNUCDF	9-1	
	カスタムデフォルト保存	MNUCDS	9-1	
	カスタムデフォルト起動	DEFALT	9-2	
インターフェース設定				
USB HIDキーボード インターフェース	キーボード配列	USB英語キーボード配列(PC)	TERMID124	10-1-1
		USB英語キーボード配列(Mac)	TERMID125	10-1-1
		USB日本キーボード配列(Japan)	TERMID134	10-1-1
	英大文字小文字 の変換	*変換しない	KBDCNV0	10-1-2
		すべて英大文字に変換する	KBDCNV1	10-1-2
		すべて英小文字に変換する	KBDCNV2	10-1-2
	制御文字を文字 で送信	*禁止	KBDNPE0	10-1-3
		許可	KBDNPE1	10-1-3
	キーボード動作 変更	*Control + Xモード 禁止	KBDCAS0	10-1-4-1
		DOSモードのControl + X Mode 許可	KBDCAS1	10-1-4-1
		WindowsモードのControl + Xモード 許可	KBDCAS2	10-1-4-1
		Windowsモード プリフィックスサフィックス無し	KBDCAS3	10-1-4-1
		*ターボモード 禁止	KBDTMD0	10-1-4-2
		ターボモード 許可	KBDTMD1	10-1-4-2
		*テンキーパッドモード 禁止	KBDNPS0	10-1-4-3
テンキーパッドモード 許可	KBDNPS1	10-1-4-3		
USB HID	USB HID	TERMID131	10-2	
USBシリアルインタ ーフェース	USBシリアル(USBバーチャルCOM)	TERMID130	10-3-1	
	ACK/NAKモード 許可	USBACK1	10-3-2	
	*ACK/NAKモード 禁止	USBACK0	10-3-2	

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

入力・出力設定					
ブザー	起動ブザー	禁止	BEPW0	11-1-1	
		*許可	BEPW1	11-1-1	
	トリガークリック音	許可	BEPTRG1	11-1-2	
		禁止	BEPTRG0	11-1-2	
	読取ブザー	ブザー禁止/許可 読取成功時	禁止	BEPBEP0	11-1-3-1
			許可	BEPBEP1	11-1-3-1
		ブザー音量 読取成功時	禁止	BEPLVL0	11-1-3-2
			小	BEPLVL1	11-1-3-2
			中	BEPLVL2	11-1-3-2
			*大	BEPLVL3	11-1-3-2
		ブザー音程 読取成功時	低(1600Hz)	BEPFQ11600	11-1-3-3
			*中(2400Hz)	BEPFQ12400	11-1-3-3
			高(4200Hz)	BEPFQ14200	11-1-3-3
		ブザー音程 読取失敗時	*Razz (250 Hz)	BEPFQ2250	11-1-3-4
			中 (3250 Hz)	BEPFQ23250	11-1-3-4
			高 (4200 Hz)	BEPFQ24200	11-1-3-4
		ブザー時間 読取成功時	*通常	BEPBIP0	11-1-3-5
			短い	BEPBIP1	11-1-3-5
	ブザー回数 読取成功時	1	BEPRPT1	11-1-3-6	
		範囲1-9	BEPRPT#	11-1-3-6	
ブザー回数 読取失敗時	1	BEPRPR1	11-1-3-7		
	範囲1-9	BEPRPR#	11-1-3-7		
BELブザー	許可	BELBEP1	11-1-3-8		
	*禁止	BELBEP0	11-1-3-8		
通知LED	通知LED 読取成功時	禁止	BEPLED0	11-2-1	
		*許可	BEPLED1	11-2-1	
読取成功ディレイ	読取成功ディレイ (規定値)	*無し	DLYGRD0	11-3-1	
		短 (500 ms)	DLYGRD500	11-3-1	
		中 (1000 ms)	DLYGRD1000	11-3-1	
		長 (1500 ms)	DLYGRD1500	11-3-1	
	ユーザー定義の読取成功ディレイ	範囲 0 - 30,000 ms	DLYGRD#####	11-3-2	

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

入力・出力設定 (続き)					
トリガー	マニュアルトリガーモード	マニュアルトリガー 通常	PAPHHF	11-4-1	
		マニュアルトリガー 液晶画面	PAPHHC	11-4-1	
	Code Gate	*禁止	AOSCGD0	11-4-1-1	
		許可	AOSCGD1	11-4-1-1	
	連続読取	許可	SHOTGN0	11-4-1-2	
		*禁止	SHOTGN1	11-4-1-2	
	シリアルトリガーモード	読み取りタイムアウト	範囲 0-300,000ms (*30,000ms)	TRGSTO#####	11-4-2-1
	キャラクタ有効化モード	許可/禁止	*禁止	HSTCEN0	11-4-3
			許可	HSTCEN1	11-4-3
		有効化キャラクタ	*12 [DC2]	HSTACH	11-4-3-1
		有効化キャラクタ読取成功後の照明オフ	照明オフにしない	HSTCGD0	11-4-3-2
			*照明オフにする	HSTCGD1	11-4-3-2
		キャラクタ有効化タイムアウト	範囲 1-300,000ms (*30,000ms)	HSTCDT#####	11-4-3-3
	キャラクタ無効化モード	許可/禁止	*禁止	HSTDEN0	11-4-4
			許可	HSTDEN1	11-4-4
		無効化キャラクタ	*14 [DC4]	HSTDCH	11-4-4-1
	エイマーディレイ	エイマーディレイ (規定値)	200 ms	SCNDLY200	11-4-5
			400 ms	SCNDLY400	11-4-5
			* 禁止 (ディレイ無し)	SCNDLY0	11-4-5
		ユーザー定義のエイマーディレイ	範囲 0 - 4,000ms	SCNDLY#####	11-4-5-1
	センタリング(マニュアルトリガー時)	許可/禁止	許可	DECWIN1	11-4-6
			禁止	DECWIN0	11-4-6
		センタリングの範囲	左 (*40%)	DECLFT###	11-4-6-1
右 (*60%)			DECRGT###	11-4-6-1	
上 (*40%)			DECTOP###	11-4-6-1	
下 (*60%)			DECBOT###	11-4-6-1	

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

入力・出力設定 (続き)					
プレゼンテーション	プレゼンテーションモード	プレゼンテーション 通常		PAPPST	11-5-1
		プレゼンテーション 液晶画面		PAPPSC	11-5-1
	プレゼンテーションモードの自動消灯	自動消灯する		PWRIDL0	11-5-2
		*自動消灯しない		PWRIDL50	11-5-2
	プレゼンテーション感度	範囲 0-20 (*1)		TRGPMS##	11-5-3
	ハンズフリータイムアウト	範囲 0 - 300,000ms(*5000)		TRGPTO#####	11-5-4
	プレゼンテーションの再読取ディレイ	プレゼンテーションの再読取ディレイ (規定値)	短(500ms)	DLYRRD500	11-5-5
			中(750ms)	DLYRRD750	11-5-5
			長(1000ms)	DLYRRD1000	11-5-5
			超長(2000ms)	DLYRRD2000	11-5-5
		ユーザー定義のプレゼンテーションの再読取ディレイ	範囲 0-300,000ms(*750)	DLYRRD#####	11-5-5-1
	2Dコードの再読取ディレイ	*無し		DLY2RR0	11-5-6
		短(1000ms)		DLY2RR1000	11-5-6
		中(2000ms)		DLY2RR2000	11-5-6
		長(3000ms)		DLY2RR3000	11-5-6
		超長(4000ms)		DLY2RR4000	11-5-6
	センタリング(プレゼンテーション時)	許可/禁止	許可	PDCWIN1	11-5-7
			禁止	PDCWIN0	11-5-7
		センタリングの範囲	左 (*40%)	PDCTOP##	11-5-7-1
			右 (*60%)	PDCBOT##	11-5-7-1
上 (*40%)			PDCLFT##	11-5-7-1	
	下 (*60%)	PDCRGT##	11-5-7-1		

白色照明ライトとエイマー	白色照明ライト 点灯/消灯	*白色照明ライト 点灯	SCNLED1	11-6-1
		白色照明ライト 消灯	SCNLED0	11-6-1
	白色照明ライト 明るさ	低	PWRNOL50	11-6-2
		*高	PWRNOL150	11-6-2
	エイマー消灯/点灯/点滅	エイマー消灯	SCNAIM0	11-6-3
		*エイマー点灯	SCNAIM2	11-6-3
エイマー点滅		SCNAIM4	11-6-3	

低品質1D	許可	DECLD11	11-7-1
	*禁止	DECLD10	11-7-1
低品質PDF417	許可	PDFXPR1	11-7-2
	*禁止	PDFXPR0	11-7-2
No Read	許可	SHWNRD1	11-7-3
	*禁止	SHWNRD0	11-7-3
白黒反転	反転のみ許可	VIDREV1	11-7-4
	反転と通常許可	VIDREV2	11-7-4
	*通常のみ許可	VIDREV0	11-7-4

ワーキングオリエンテーション	*正面	ROTATN0	11-8
	垂直、下から上	ROTATN1	11-8
	上下逆さ	ROTATN2	11-8
	垂直、上から下	ROTATN3	11-8

16-8 メニューコマンド（続き）

*印は出荷時設定

※サフィックスについて：工場出荷時の初期設定＝サフィックス未設定（無し）、エイポックのカスタムデフォルト＝すべてのシンボルにCRサフィックスを追加（SUFBK2990D）

送信データ設定			
すべてのシンボルにCRサフィックスを追加※		VSUFPCR	12-1-1
プリフィックス	プリフィックス追加	PREBK2##	12-1-2
	シンボルを指定してプリフィックス削除	PRECL2	12-1-2
	すべてのプリフィックス削除	PRECA2	12-1-2
サフィックス※	サフィックス追加	SUFBK2##	12-1-3
	シンボルを指定してサフィックス削除	SUFCL2	12-1-3
	すべてのサフィックス削除	SUFCA2	12-1-3

制御文字の送信	*送信する	RMVFNC0	12-2
	送信しない	RMVFNC1	12-2

送信データのディレイ	キャラクタ間ディレイ	範囲 0 - 1000 (5ms単位)	DLYCHR#####	12-3-1	
	ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ	ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ	範囲 0 - 1000 (5ms単位)	DLYCRX#####	12-3-2
		ユーザー指定のディレイキャラクタ	範囲00-7F	DLY_XX##	12-3-2
	ファンクション間ディレイ	範囲 0 - 1000 (5ms単位)	DLYFNC#####	12-3-3	
	メッセージ間ディレイ	範囲 0 - 1000 (5ms単位)	DLYMSG##	12-3-4	

データフォーマット設定			
データフォーマット初期設定		DFMDF3	13-1-1
データフォーマット設定開始		DFMBK3##...	13-1-2
データフォーマット削除	データフォーマットを指定して削除	DFMCL3	13-1-3
	データフォーマットすべて消去	DFMCA3	13-1-3
データフォーマッター	データフォーマッター 禁止	DFM_EN0	13-1-4
	データフォーマッター 許可,要求しない,プリフィクス/サフィックスあり	DFM_EN1	13-1-4
	データフォーマッター 許可,要求する,プリフィクス/サフィックスあり	DFM_EN2	13-1-4
基準/代用フォーマット	基準フォーマット	ALTFNM0	13-1-5
	代用フォーマット1	ALTFNM1	13-1-5
	代用フォーマット2	ALTFNM2	13-1-5
	代用フォーマット3	ALTFNM3	13-1-5

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定			
すべてのシンボル	すべてのシンボル 読取禁止	ALLENA0	14-1
	すべてのシンボル 読取許可	ALLENA1	14-1

Codabar (NW7)	Codabar (NW7) の全設定 初期化	CBRDFT	14-3
Codabar (NW7) 読取許可/禁止	読取禁止	CBRENA0	14-3
	*読取許可	CBRENA1	14-3
Codabar (NW7) スタート/ストップ	*送信しない	CBRSSX0	14-3
	送信する	CBRSSX1	14-3
Codabar (NW7) チェックキャラクタ (モジュラス16)	*チェックキャラクタなし	CBRCK20	14-3
	チェックキャラクタ確認, 送信しない	CBRCK21	14-3
	チェックキャラクタ確認, 送信する	CBRCK22	14-3
Codabar (NW7) 連結機能	*禁止	CBRCCT0	14-3
	許可	CBRCCT1	14-3
	要求する	CBRCCT2	14-3
Codabar (NW7) 読取桁数	最小 (2 - 60) *4	CBRMIN##	14-3
	最大 (2 - 60) *60	CBRMAX##	14-3

Code 39	Code39の全設定 初期化	C39DFT	14-4
Code 39 読取許可/禁止	禁止	C39ENA0	14-4
	*許可	C39ENA1	14-4
Code 39 スタート/ストップ	*送信しない	C39SSX0	14-4
	送信する	C39SSX1	14-4
Code 39 チェックキャラクタ	*チェックキャラクタなし	C39CK20	14-4
	チェックキャラクタ確認, 送信しない	C39CK21	14-4
	チェックキャラクタ確認, 送信する	C39CK22	14-4
Code 39 読取桁数	最小 (0 - 48) *0	C39MIN##	14-4
	最大 (0 - 48) *48	C39MAX##	14-4
Code 39 連結機能	*禁止	C39APP0	14-4
	許可	C39APP1	14-4
Code 32 Pharmaceutical (PARAF) 読取	*禁止	C39B320	14-4
	許可	C39B321	14-4
Code 39 Full ASCII	*Full ASCII 禁止	C39ASC0	14-4
	Full ASCII許可	C39ASC1	14-4
Code 39コードページ	Code 39 コードページ	C39DCP	14-4

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
Interleaved 2 of 5 (ITF)	Interleaved 2 of 5 (ITF)の全設定 初期化	I25DFT	14-5
Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取許可/禁止	禁止	I25ENA0	14-5
	*許可	I25ENA1	14-5
Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット	*チェックデジットなし	I25CK20	14-5
	チェックデジット確認, 送信しない	I25CK21	14-5
	チェックデジット確認, 送信する	I25CK22	14-5
Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取桁数	最小 (2 - 80) *4	I25MIN##	14-5
	最大 (2 - 80) *80	I25MAX##	14-5

NEC 2 of 5	NEC 2 of 5の全設定 初期化	N25DFT	14-6
NEC 2 of 5 読取許可/禁止	禁止	N25ENA0	14-6
	*許可	N25ENA1	14-6
NEC 2 of 5 チェックデジット	*チェックデジットなし	N25CK20	14-6
	チェックデジット確認, 送信しない	N25CK21	14-6
	チェックデジット確認, 送信する	N25CK22	14-6
NEC 2 of 5 読取桁数	最小 (2 - 80) *4	N25MIN##	14-6
	最大 (2 - 80) *80	N25MAX##	14-6

※Code 93について：工場出荷時の初期設定＝読取許可、エイボックのカスタムデフォルト＝読取禁止

Code 93	Code 93 の全設定 初期化	C93DFT	14-7
Code 93 読取許可/禁止	禁止	C93ENA0	14-7
	*許可	C93ENA1	14-7
Code 93 読取桁数	最小 (0 - 80) *0	C93MIN##	14-7
	最大 (0 - 80) *80	C93MAX##	14-7
Code 93コードページ	Code 93 コードページ	C93DCP	14-7

Straight 2 of 5 Industrial	Straight 2 of 5 Industrial の全設定 初期化	R25DFT	14-8
Straight 2 of 5 Industrial 読取許可/禁止	*禁止	R25ENA0	14-8
	許可	R25ENA1	14-8
Straight 2 of 5 Industrial 読取桁数	最小 (1 - 48) *4	R25MIN##	14-8
	最大 (1 - 48) *48	R25MAX##	14-8

Straight 2 of 5 IATA	Straight 2 of 5 IATA の全設定 初期化	A25DFT	14-9
Straight 2 of 5 IATA 読取許可/禁止	*禁止	A25ENA0	14-9
	許可	A25ENA1	14-9
Straight 2 of 5 IATA 読取桁数	最小 (1 - 48) *4	A25MIN##	14-9
	最大 (1 - 48) *48	A25MAX##	14-9

Matrix 2 of 5	Matrix 2 of 5 の全設定 初期化	X25DFT	14-10
Matrix 2 of 5 読取許可/禁止	*禁止	X25ENA0	14-10
	許可	X25ENA1	14-10
Matrix 2 of 5 読取桁数	最小 (1 - 80) *4	X25MIN##	14-10
	最大 (1 - 80) *80	X25MAX##	14-10

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
Code 11	Code 11 の全設定 初期化	C11DFT	14-11
Code 11 読取許可/禁止	*禁止	C11ENA0	14-11
	許可	C11ENA1	14-11
Code 11 チェックデジット要求	1 チェックデジット	C11CK20	14-11
	*2 チェックデジット	C11CK21	14-11
Code 11 読取桁数	最小 (1 - 80) *4	C11MIN##	14-11
	最大 (1 - 80) *80	C11MAX##	14-11

Code 128	Code 128 の全設定 初期化	128DFT	14-12
Code 128 読取許可/禁止	禁止	128ENA0	14-12
	*許可	128ENA1	14-12
Code 128 読取桁数	最小 (0 - 80) *0	128MIN##	14-12
	最大 (0 - 80) *80	128MAX##	14-12
Code 128 連結機能	禁止	128APP0	14-12
	*許可	128APP1	14-12
ISBT 連結機能	*禁止	ISBENA0	14-12
	許可	ISBENA1	14-12
Code 128 コードページ	Code 128 コードページ (*2)	128DCP##	14-12

GS1-128	GS1-128 の全設定 初期化	GS1DFT	14-13
GS1 128 読取許可/禁止	禁止	GS1ENA0	14-13
	*許可	GS1ENA1	14-13
GS1-128 読取桁数	最小 (0 - 80) *0	GS1MIN##	14-13
	最大 (0 - 80) *80	GS1MAX##	14-13

UPC-A	UPC-A の全設定 初期化	UPADFT	14-14
UPC-A 読取許可/禁止	禁止	UPBENA0	14-14
	*許可	UPBENA1	14-14
UPC-A から EAN-13/JAN-13変換	*変換しない	UPAENA1	14-14
	変換する	UPAENA0	14-14
UPC-A チェックデジット	送信しない	UPACKX0	14-14
	*送信する	UPACKX1	14-14
UPC-A ナンバーシステム	送信しない	UPANSX0	14-14
	*送信する	UPANSX1	14-14
UPC-A アドオン	*アドオン2桁 禁止	UPAAD20	14-14
	アドオン2桁 許可	UPAAD21	14-14
	*アドオン5桁 禁止	UPAAD50	14-14
	アドオン5桁 許可	UPAAD51	14-14
UPC-A アドオン要求	*要求しない	UPAARQ0	14-14
	要求する	UPAARQ1	14-14
UPC-A アドオンセパレータ	禁止	UPAADS0	14-14
	*許可	UPAADS1	14-14
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13	*禁止	CPNENA0	14-14
	許可	CPNENA1	14-14
	要求する	CPNENA2	14-14
クーポンGS1データバー出力	*禁止	CPNGS10	14-14
	許可	CPNGS11	14-14

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
UPC-E	UPC-E の全設定 初期化	UPEDFT	14-15
UPC-E0 読取許可/禁止	UPC-E1読取禁止	UPEEN10	14-15
	*UPC-E1読取許可	UPEEN11	14-15
UPC-E0 拡張	*禁止	UPEEXP0	14-15
	許可	UPEEXP1	14-15
UPC-E0 チェックデジット	送信しない	UPECKX0	14-15
	*送信する	UPECKX1	14-15
UPC-E0 ナンバーシステム	送信しない	UPENSX0	14-15
	*送信する	UPENSX1	14-15
UPC-E0 アドオン	アドオン2桁 許可	UPEAD21	14-15
	*アドオン2桁 禁止	UPEAD20	14-15
	アドオン5桁 許可	UPEAD51	14-15
	*アドオン5桁 禁止	UPEAD50	14-15
UPC-E0 アドオン要求	*要求しない	UPEARQ1	14-15
	要求する	UPEARQ0	14-15
UPC-E0 アドオンセパレータ	*許可	UPEADS1	14-15
	禁止	UPEADS0	14-15
UPC-E1 読取許可/禁止	UPC-E0読取禁止	UPEEN00	14-15
	*UPC-E0読取許可	UPEEN01	14-15

EAN-13/JAN-13	EAN-13/ JAN-13 の全設定 初期化	E13DFT	14-16
EAN-13/JAN-13 読取許可/禁止	読取禁止	E13ENA0	14-16
	*読取許可	E13ENA1	14-16
EAN/JAN-13 チェックデジット	送信しない	E13CKX0	14-16
	*送信する	E13CKX1	14-16
ISBN 変換	*変換しない	E13ISB0	14-16
	変換する	E13ISB1	14-16
EAN/JAN-13 アドオン	アドオン2桁 許可	E13AD21	14-16
	*アドオン2桁 禁止	E13AD20	14-16
	アドオン5桁 許可	E13AD51	14-16
	*アドオン5桁 禁止	E13AD50	14-16
EAN/JAN-13 アドオン要求	*要求しない	E13ARQ0	14-16
	要求する	E13ARQ1	14-16
EAN/JAN-13 アドオンセパレータ	禁止	E13ADS0	14-16
	*許可	E13ADS1	14-16

EAN/JAN-8	EAN/ JAN 8 の全設定 初期化	EA8DFT	14-17
EAN/JAN-8 読取許可/禁止	読取禁止	EA8ENA0	14-17
	*読取許可	EA8ENA1	14-17
EAN/JAN-8 チェックデジット	送信しない	EA8CKX0	14-17
	*送信する	EA8CKX1	14-17
EAN/JAN-8 アドオン	アドオン2桁 許可	EA8AD20	14-17
	*アドオン2桁 禁止	EA8AD21	14-17
	アドオン5桁 許可	EA8AD50	14-17
	*アドオン5桁 禁止	EA8AD51	14-17
EAN/JAN-8 アドオン要求	*要求しない	EA8ARQ0	14-17
	要求する	EA8ARQ1	14-17
EAN/JAN-8 アドオンセパレータ	禁止	EA8ADS0	14-17
	*許可	EA8ADS1	14-17

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
MSI	MSI の全設定 初期化	MSIDFT	14-18
MSI 読取許可/禁止	*読取禁止	MSIENA0	14-18
	読取許可	MSIENA1	14-18
MSI 読取桁数	最小 (4 - 48) *4	MSIMIN##	14-18
	最大 (4 - 48) *48	MSIMAX##	14-18
MSI チェックキャラクタ	*タイプ10確認する, 送信しない	MSICHK0	14-18
	タイプ10確認する, 送信する	MSICHK1	14-18
	タイプ10 2つ確認, 送信しない	MSICHK2	14-18
	タイプ10 2つ確認, 送信する	MSICHK3	14-18
	タイプ11, タイプ10確認, 送信しない	MSICHK4	14-18
	タイプ11, タイプ10確認, 送信する	MSICHK5	14-18
	チェックキャラクタなし	MSICHK6	14-18

※GS1データバーについて：工場出荷時の初期設定＝読取許可、エイポックのカスタムデフォルト＝読取禁止

GS1データバー標準型	GS1データバー標準型 の全設定 初期化	RSSDFT	14-19
GS1データバー標準型 読取許可/禁止※	読取禁止	RSSENA0	14-19
	*読取許可	RSSENA1	14-19
GS1データバー限定型(リミテッド)	GS1データバー限定型(リミテッド) の全設定 初期化	RSLDFT	14-20
GS1データバー限定型 読取許可/禁止※	読取禁止	RSLENA0	14-20
	*読取許可	RSLENA1	14-20
GS1データバー拡張型(エクспанデッド)	GS1データバー拡張型(エクспанデッド) の全設定 初期化	RSEDFT	14-21
GS1データバー拡張型(エクспанデッド) 読取許可/禁止※	読取禁止	RSEENA0	14-21
	*読取許可	RSEENA1	14-21
GS1データバー拡張型(RSS Expanded) 読取桁数	最小 (4 - 74) *4	RSEMIN##	14-21
	最大 (4 - 74) *74	RSEMAX##	14-21

Codablock A	Codablock A の全設定 初期化	CBADFT	14-22
Codablock A 読取許可/禁止	*読取禁止	CBAENA0	14-22
	読取許可	CBAENA1	14-22
Codablock A 読取桁数	最小 (1 - 600) *1	CBAMIN###	14-22
	最大 (1 - 600) *600	CBAMAX###	14-22

Codablock F	Codablock F の全設定 初期化	CBFDFT	14-23
Codablock F読取許可/禁止	*読取禁止	CBFENA0	14-23
	読取許可	CBFENA1	14-23
Codablock F 読取桁数	最小 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	14-23
	最大 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	14-23

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
PDF417	PDF417 の全設定 初期化	PDFDFT	14-24
PDF417 読取許可/禁止	読取禁止	PDFENA0	14-24
	*読取許可	PDFENA1	14-24
PDF417 読取桁数	最小 (1-2750) *1	PDFMIN	14-24
	最大 (1-2750) *2750	PDFMAX	14-24

MicroPDF417	Micro PDF417 の全設定 初期化	MPDDFT	14-25
MicroPDF417読取許可/禁止	読取禁止	MPDENA0	14-25
	*読取許可	MPDENA1	14-25
MicroPDF417 読取桁数	最小 (1-366) *1	MPDMIN	14-25
	最大 (1-366) *366	MPDMAX	14-25
TCIF Linked Code 39 (TLC39) 読取許可/禁止	*読取禁止	T39ENA0	14-25
	読取許可	T39ENA1	14-25

※GS1合成シンボルについて：出荷時は読取許可です（カスタムデフォルトではなく通常の設定をしています）

GS1合成シンボル (GS1 Composite) 読取許可/禁止※	*読取禁止	COMENA0	14-26
	読取許可	COMENA1	14-26
UPC/EANバージョン	*禁止	COMUPC0	14-26
	許可	COMUPC1	14-26
GS1合成シンボル 読取桁数	最小 (1-2435) *1	COMMIN#####	14-26
	最大 (1-2435) *2435	COMMAX#####	14-26

※GS1エミュレーションについて：出荷時はGS1コード拡張オフです（カスタムデフォルトではなく通常の設定をしています）

GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	14-27
	GS1データバーエミュレーション	EANEMU2	14-27
	GS1 コード拡張オフ	EANEMU3	14-27
	EAN8からEAN13に変換する	EANEMU4	14-27
	*GS1 エミュレーションなし	EANEMU0	14-27

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
QRコード	QRコード の全設定 初期化	QRCDFT	14-28
QRコード 読取許可/ 禁止	読取禁止	QRCENA0	14-28
	*読取許可	QRCENA1	14-28
QRコード 読取桁数	最小 (1 - 7089) *1	QRCMIN####	14-28
	最大 (1 - 7089) *7089	QRCMAX####	14-28
QRコード 連結機能	*1スキャン	QRCAPP1	14-28
	スワイプ	QRCAPP2	14-28
	1個ずつスキャン	QRCAPP3	14-28
	禁止	QRCAPP0	14-28
QRコード コードペ ージ	QRコード コードページ (*3)	QRCDCP##	14-28

Data Matrix	Data Matrix の全設定 初期化	IDMDFT	14-29
Data Matrix 読取許可/ 禁止	読取禁止	IDMENA0	14-29
	*読取許可	IDMENA1	14-29
Data Matrix 読取桁数	最小 (1-3116) *1	IDMMIN####	14-29
	最大 (1-3116) *3116	IDMMAX####	14-29
Data Matrix コードペ ージ	Data Matrix コードページ (*51)	IDMDCP##	14-29

MaxiCode	MaxiCode の全設定 初期化	MAXDFT	14-30
MaxiCode 読取許可/ 禁止	*読取禁止	MAXENA0	14-30
	読取許可	MAXENA1	14-30
MaxiCode 読取桁数	最小 (1-150) *1	MAXMIN###	14-30
	最大 (1-150) *150	MAXMAX###	14-30

Aztec Code	Aztec Code の全設定 初期化	AZTDFT	14-31
Aztec Code読取許可/ 禁止	読取禁止	AZTENA0	14-31
	*読取許可	AZTENA1	14-31
Aztec Code 読取桁数	最小 (1-3832) *1	AZTMIN####	14-31
	最大 (1-3832) *3832	AZTMAX####	14-31
Aztec Code 連結機能	*1スキャン	AZTAPP1	14-31
	スワイプ	AZTAPP2	14-31
	1個ずつスキャン	AZTAPP3	14-31
	禁止	AZTAPP0	14-31
Aztec Code コードペ ージ	Aztec Code コードページ (*51)	AZTDCP##	14-31

中国郵便コード (Han Xin Code)	中国郵便コード の全設定 初期化	HX_DFT	14-32
中国郵便コード 読取 許可/禁止	*読取禁止	HX_ENA0	14-32
	読取許可	HX_ENA1	14-32
中国郵便コード 読取 桁数	最小 (1-7833) *1	HX_MIN####	14-32
	最大 (1-7833) *7833	HX_MAX####	14-32

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
2次元郵便コード	*読取禁止	POSTAL0	14-33
1種類の読取許可	オーストラリア郵便 許可	POSTAL1	14-33
	イギリス郵便 許可	POSTAL7	14-33
	カナダ郵便 許可	POSTAL30	14-33
	Intelligent Mail バーコード 許可	POSTAL10	14-33
	日本郵便 許可	POSTAL3	14-33
	KIX 許可	POSTAL4	14-33
	Planet Code 許可	POSTAL5	14-33
	Postal-4i 許可	POSTAL9	14-33
	Postnet 許可	POSTAL6	14-33
	Postnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL11	14-33
複数種類の読取許可	Info Mail 許可	POSTAL2	14-33
	Info Mailとイギリス郵便 許可	POSTAL8	14-33
	Intelligent Mail バーコードとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL20	14-33
	PostnetとPostal-4i 許可	POSTAL14	14-33
	PostnetとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL16	14-33
	Postal-4iとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL17	14-33
	Postal-4iとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL19	14-33
	PlanetとPostnet 許可	POSTAL12	14-33
	PlanetとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL18	14-33
	PlanetとPostal-4i 許可	POSTAL13	14-33
	PlanetとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL15	14-33
	Planet,PostnetとPostal-4i 許可	POSTAL21	14-33
	Planet,PostnetとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL22	14-33
	Planet,Postal-4iとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL23	14-33
	Postnet,Postal-4iとIntelligent Mail バーコード 許可	POSTAL24	14-33
	Planet,Postal-4iとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL25	14-33
	Planet,Intelligent Mail バーコードとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL26	14-33
	Postal-4i, Intelligent Mail バーコードとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL27	14-33
	Planet,Postal-4i, Intelligent Mail バーコードとPostnet 許可	POSTAL28	14-33
Planet,Postal-4i, Intelligent Mail バーコードとPostnet B B'フィールド付き 許可	POSTAL29	14-33	

Planet Code チェックデジット	*送信しない	PLNCKX0	14-33
	送信する	PLNCKX1	14-33
Postnet チェックデジット	*送信しない	NETCKX0	14-33
	送信する	NETCKX1	14-33

オーストラリア郵便解釈	*バー出力	AUSINT0	14-33
	数字 N テーブル	AUSINT1	14-33
	英数字 C テーブル	AUSINT2	14-33
	NとCの組み合わせ	AUSINT3	14-33

シリアルプログラミングコマンド

16-8 メニューコマンド (続き)

*印は出荷時設定

バーコードの読取設定 (続き)			
中国郵便(香港2of5)	中国郵便コード(1次元) の全設定 初期化	CPCDFT	14-34
中国郵便(香港2of5) 読取許可/禁止	*読取禁止	CPCENA0	14-34
	読取許可	CPCENA1	14-34
中国郵便 読取桁数	最小 (2 - 80) *4	CPCMIN##	14-34
	最大 (2 - 80) *80	CPCMAX##	14-34

韓国郵便	韓国郵便コード の全設定 初期化	KPCDFT	14-35
韓国郵便 読取許可/禁止	*読取禁止	KPCENA0	14-35
	読取許可	KPCENA1	14-35
韓国郵便 チェックデ ジット	最小 (2 - 80) *4	KPCMIN##	14-35
	最大 (2 - 80) *48	KPCMAX##	14-35

ユーティリティ			
プリフィックスにコードIDを追加 (一時的な設定)		PRECA2,BK2995C80!	15
デコーダ リビジョン表示		REV_DR	15
スキャンドライバ リビジョン表示		REV_SD	15
ソフトウェア リビジョン表示		REVINF	15
データフォーマット表示		DFMBK3?	15
設定メニューの内容 表示	許可	TSTMNU1	15
	*禁止	TSTMNU0	15
工場出荷時の初期設 定に戻す	カスタムデフォルト削除	DEFOVR	15
	デフォルトの有効化	DEFAULT	15

第 17 章 保証と修理

17-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

17-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社エイポック

ホームページ <http://www.a-poc.co.jp/>

メール info_mail@a-poc.co.jp

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-501-5202

付録A シンボル一覧表（コードID表）

メモ *m* は AIM モディファイ（変更子）の値です。詳細は ISO/IEC 15424 Information technology -- Automatic identification and data capture techniques -- Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers)を参照して下さい。

各設定でバーコードの種類を設定する場合はシンボルチャートのHexの値を設定します。

例 Code39に設定する場合、HEX値は「62」、Code128に設定する場合、HEX値は「6A」

全ての種類のバーコードに設定する場合、HEX値は「99」

リニアシンボル（1次元バーコード）

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	ID (AIM ID)	モディファイ(m)	ID (コードID)	Hex
すべてのシンボル				99
Codabar (NW-7)	JF <i>m</i>	0-1	a	61
Code 11	JH3		h	68
Code 128	JC <i>m</i>	0,1,2,4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	JX0		<	3C
Code 39 (Full ASCIIモード対応)	J <i>A</i> m	0,1,3,4,5,7	B	62
TCIF linked Code 39 (TLC39)	JL2		T	54
Code 93 and 93i	JG <i>m</i>	0-9,A-Z,a-m	i	69
EAN-13	JE <i>m</i>	0,1,3,4	d	64
EAN-13 (Bookland EANを含む)	JE0		d	64
EAN-13 アドオン付き	JE3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code	JE3		d	64
EAN-8	JE4		D	44
EAN-8 アドオン付き	JE3		D	44
GS1				
GS1データバー	JE <i>m</i>	0	y	79
GS1データバー限定型	JE <i>m</i>		{	7B
GS1データバー拡張型	JE <i>m</i>		}	7D
GS1-128	JC1		l	49
2 of 5				
中国郵便コード(香港2of5)	JX0		Q	51
Interleaved 2 of 5 (ITF)	J <i>l</i> m	0,1,3	e	65
Matrix 2 of 5	JX0		m	6D
NEC 2 of 5	JX0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	JR <i>m</i>	0,1,3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	JS0		f	66
MSI	JM <i>m</i>	0,1	g	67
UPC		0,1,2,3,8,9,A,B,C		
UPC-A	JE0		c	63
UPC-A アドオン付き	JE3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code	JE3		c	63
UPC-E	JE0		E	45
EAN-E アドオン付き	JE3		E	45
UPC-E1	JX0		E	45

製品コードID追加				5C80
AIMコードID追加				5C81
Backslash追加				5C5C

付録A (続き) シンボル一覧表 (コードID表)

2次元シンボル (2次元バーコード)

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	ID (AIM ID)	モディファイ(m)	ID (コードID)	Hex
すべてのシンボル				99
Aztec Code	Jzm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Senible Code (漢信コード)	JX0		H	48
Codablock A	JO6	0,1,4,5,6	V	56
Codablock F	JOm	0,1,4, 5,6	q	71
Code 49	JTm	0,1,2,4	l	6C
Data Matrix	Jdm	0-6	w	77
GS1	Jem	0-3	y	79
GS1合成シンボル (GS1 Composite)	Jem	0-3	y	79
GS1データバー標準型	Jem	0-3	y	79
MaxiCode	JUm	0-3	x	78
PDF417	JLm	0-2	r	72
MicroPDF417	JLm	0-5	R	52
QRコード	JQm	0-6	s	73
Micro QRコード	JQm		s	73

郵便シンボル

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	ID (AIM ID)	モディファイ(m)	ID (コードID)	Hex
すべてのシンボル				99
Australian Post (オーストラリア郵便)	JX0		A	41
British Post (イギリス郵便)	JX0		C	43
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
InfoMail	JX0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	JX0		M	4D
Japanese Post (日本郵便)	JX0		J	4A
KIX Post (オランダ郵便)	JX0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)	JX0		?	3F
Planet Code	JX0		L	4C
Postal-4i	JX0		N	4E
Postnet	JX0		P	50

付録B ASCIIコード表

USB HIDキーボードインターフェースのとき、各設定でファンクションキーを設定する場合、通常はコントロールモード+Xモード 禁止のキーを参照し、そのHEXの値を設定します。

例 サフィックスにTabを追加するなら、HEX値は「09」

印刷不可なASCII制御文字			キーボードコントロール+ASCII(CTRL+X)モード		
DEC	HEX	制御文字	コントロール+Xモード 禁止 (KBDCAS0)	Windowsモード コントロール+Xモード 許可 (KBDCAS2)	
				CTRL+X	CTRL+X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+@	
1	01	SOH	Enter (KP)	CTRL+A	Select all
2	02	STX	Cap Lock	CTRL+B	Bold
3	03	ETX	ALT make	CTRL+C	Copy
4	04	EOT	ALT break	CTRL+D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL make	CTRL+E	Center
6	06	ACK	CTRL break	CTRL+F	Find
7	07	BEL	Enter/Ret	CTRL+G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL+H	History
9	09	HT	Tab	CTRL+I	Italic
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL+J	Justify
11	0B	VT	Tab	CTRL+K	Hyperlink
12	0C	FF	Delete	CTRL+L	List,left again
13	0D	CR	Enter/Ret	CTRL+M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+N	New
15	0F	SI	Escape (ESC)	CTRL+O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+P	Print
17	11	DC1	Home	CTRL+Q	Quit
18	12	DC2	Print Screen	CTRL+R	
19	13	DC3	Back Space	CTRL+S	Save
20	14	DC4	Back Tab	CTRL+T	
21	15	NAK	F12	CTRL+U	
22	16	SYN	F1	CTRL+V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+W	
24	18	CAN	F3	CTRL+X	
25	19	EM	F4	CTRL+Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+[
28	1C	FS	F7	CTRL+¥	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+^	
31	1F	US	F10	CTRL+-	
127	7F	␣	NP Enter (Numeric Keypad Enter)	CTRL+-	

付録B 下位アスキーコード表（続き）

メモ Windowsコードページ1252（CP1252）と下位ASCIIは同じキャラクターを使用します。

各設定で文字（キャラクター）を設定する場合の値は「HEX」を参照します。

例 「A」を設定する場合、値は「41」、「f」を設定する場合、値は「66」、「-」を設定する場合、値は「2D」

印刷可能な文字								
DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	'
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
60	3C	<	92	5C	¥	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	△

付録B 下位アスキーコード表 (続き)

メモ 以下は拡張 ASCII キャラクタです

拡張ASCIIキャラクタ					
DEC	HEX	CP1252	ASCII	Alternate Extended	PS2 Scan Coede
128	80	€	Ç		0x48
129	81		ü		0x50
130	82	,	é		0x4B
131	83	f	â		0x4D
132	84	„	ä		0x52
133	85	...	à		0x53
134	86	†	â		0x47
135	87	‡	ç		0x4F
136	88	^	ê		0x49
137	89	%o	ë		0x51
138	8A	Š	è		0x38
139	8B	‹	ï		0x1D
140	8C	OE	î		N/A
141	8D		ì		N/A
142	8E	Ž	Ä		0x1C
143	8F		Å		0x35
144	90		É		0x3B
145	91	‘	æ		0x3C
146	92	’	Æ		0x3D
147	93	“	ô		0x3E
148	94	”	ö		0x3F
149	95	•	ò		0x40
150	96	–	û		0x41
151	97	—	ù		0x42
152	98	~	ÿ		0x43
153	99	™	Ö		0x44
154	9A	š	Ü		0x57
155	9B	›	ç		0x58
156	9C	oe	£		0x4E
157	9D		¥		0x4A
158	9E	ž	Pts		0x37
159	9F	ÿ	f		0x3A
160	A0		á		0x45
161	A1	ı	í		0x38
162	A2	ç	ó		0x1D
163	A3	£	ú		0x2A
164	A4	¤	ñ		0x36
165	A5	¥	Ñ		N/A
166	A6	ı	a		0x0F
167	A7	§	o		0x8F
168	A8	¨	ı		0x1C
169	A9	©	¬		0x01
170	AA	a	¬		0x36
171	AB	«	½		0xB6
172	AC	¬	¼		0x1D
173	AD		ı		0x9D
174	AE	®	«		0x36
175	AF	–	»		0x1D

付録B 下位アスキーコード表 (続き)

拡張ASCIIキャラクタ					
DEC	HEX	CP1252	ASCII	Alternate Extended	PS2 Scan Coede
176	B0	°	⌘		
177	B1	±	⌘		
178	B2	²	⌘		
179	B3	³			
180	B4	´			
181	B5	µ			
182	B6	¶			
183	B7	·			
184	B8	¸			
185	B9	¹			
186	BA	º			
187	BB	»			
188	BC	¼			
189	BD	½			
190	BE	¾			
191	BF	¿			
192	C0	À	À		
193	C1	Á	Á		
194	C2	Â	Â		
195	C3	Ã	Ã		
196	C4	Ä	Ä		
197	C5	Å	Å		
198	C6	Æ	Æ		
199	C7	Ç	Ç		
200	C8	È	È		
201	C9	É	É		
202	CA	Ê	Ê		
203	CB	Ë	Ë		
204	CC	Ì	Ì		
205	CD	Í	Í		
206	CE	Î	Î		
207	CF	Ï	Ï		
208	D0	Ð	Ð		
209	D1	Ñ	Ñ		
210	D2	Ò	Ò		
211	D3	Ó	Ó		
212	D4	Ô	Ô		
213	D5	Õ	Õ		
214	D6	Ö	Ö		
215	D7	×	×		
216	D8	Ø	Ø		
217	D9	Ù	Ù		
218	DA	Ú	Ú		
219	DB	Û	■		
220	DC	Ü	■		
221	DD	Ý	■		
222	DE	Þ	■		
223	DF	ß	■		

付録B 下位アスキーコード表 (続き)

拡張ASCIIキャラクタ					
DEC	HEX	CP1252	ASCII	Alternate Extended	PS2 Scan Coede
224	E0	à	α		
225	E1	á	β		
226	E2	â	Γ		
227	E3	ã	π		
228	E4	ä	Σ		
229	E5	å	ο		
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	τ		
232	E8	è	Φ		
233	E9	é	Θ		
234	EA	ê	Ω		
235	EB	ë	δ		
236	EC	ì	∞		
237	ED	í	φ		
238	EE	î	ε		
239	EF	ï	∩		
240	F0	ò	≡		
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	≥		
243	F3	ó	≤		
244	F4	ô			
245	F5	õ	}]		
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	≈		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	·		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	√		
252	FC	ü	ⁿ		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

付録C ISO 2022/USO 646 キャラクタ変換

メモ コードページの設定の値です。

コードページ選択方法 / 国	標準規格	国別キーボード	コードページオプション
アメリカ (標準 ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2(デフォルト)
バイナリコードページ		n/a	3
デフォルトの「自動国キャラクタ置換」は以下の Code128、Code 39、Code 93 用コードページオプションを選択します。			
アメリカ	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド (拡張 Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

付録C (続き) ISO 2022/USO 646 キャラクタ変換

DEC			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
HEX			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	-
CN	92	99	#	¥	@	[¥]	^	`	{		}	-
GB	7	87	£	\$	@	[¥]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	..
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ô	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	ç	Õ	^	`	à	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	..
国	国	国												

付録D GS1データ編集設定

GS1 データ編集設定は GS1-128、GS1 データバー、GS1 Datamatrix、GS1 QR Code の AI(アプリケーション識別子)を識別してデータを編集する設定です。シンボルの詳細は <https://www.gs1.org/>の GS1 General Specifications を参照して下さい。

設定の特徴

- ・ AI にカッコ () を付ける
- ・ AI を削除する
- ・ 年月日の日が 00 なら削除する
- ・ 複数の項目を含むデータフィールドにセパレータ (区切り文字) を追加する
- ・ 区切り文字 FNC1 をキャラクタ又はキー押下に置換する
- ・ 区切り文字 FNC1 を削除する
- ・ 小数点を定義した AI のデータフィールドに少数点を追加する
- ・ キャラクタは Unicode で設定する (12 キャラクタまで又はキー押下 4 つまで)
- ・ AI ごとに AI プリフィックスと AI サフィックスを追加する (AI は 10 個まで)
- ・ フィルタとソート設定 (抽出と並び替え。AI は 10 個まで)

D-1 キャラクタの設定方法

区切り文字 FNC1 置換、セパレータ、AI プリフィックス、AI サフィックスのキャラクタの設定は Unicode エンコーディング (16bit) が使用されます。そのため Unicode の仕様にしたがって 4 桁の数字で設定します。(Unicode については技術書やインターネットでお調べ下さい)

例

A → 0041
a → 0061
€ → 20AC
尤 → 2E90

設定メニューでの設定方法 :

設定メニューを読み取り、英数メニューから Unicode と同じ英数メニューを読み取り、保存を読み取ります。

例

GS1RFN. → 0041 → 保存. (区切り FNC1 の置換キャラクタに A を追加する)

シリアルプログラミングコマンドでの設定方法 :

キャラクタを設定する場合、ASCII キャラクタはクォート(")で囲むと、Unicode と混在させることができます。

例

GS1RFN"abcdef". (区切り FNC1 の置換キャラクタに abcdef を追加する)
GS1SEP"ABCDEF"20AC. (データフィールド内のセパレータに ABCDEF€を追加する)
GS1SEP"ABCDEF"20AC"abc". (データフィールド内のセパレータに ABCDEF€abc を追加する)

メモ コマンド送信するときは先頭に ASCII の SYN M CR を付けてください。











付録D GS1データ編集設定（続き）

D-2 GS1 編集設定メニュー

設定メニュー		説明
GS1DFT.  GS1 データ編集初期化		GS1 データ編集を初期化します。
GS1?.  GS1 設定内容を送信		読み取ると現在のGS1データ編集の設定内容を送信します。
GS1FMT0.  *GS1 編集 禁止（オフ）	GS1FMT1.  GS1 編集 許可（オン）	GS1 データ編集の制御です。禁止は編集機能をオフにします。許可は編集機能をオンにし、編集した状態で読み取りデータを送信します。
GS1PAR0.  *AI にカッコ()を付けない	GS1PAR1.  AI にカッコ()を付ける	AI にカッコ()を付けないか付けるかの設定です。 0104512345678903 または (01)04512345678903 のように送信します。
GS1RAI0.  *AI そのまま	GS1RAI1.  AI 削除する	AI を削除しないか削除するかの設定です。 0104512345678903 または 04512345678903 のように送信します。
GS1RDA0.  *日付そのまま	GS1RDA1.  日付 00 なら削除する	年月日の日付が 00 なら削除する設定です。 180721→180721 180700→1807
GS1SEE0.  *セパレータを付けない	GS1SEE1.  セパレータを付ける	複数の項目を含むAIのデータを項目ごとに区切るセパレータを付けないか付けるかの設定です。 例 AI 8006 は3つの3つのフィールドを含みます(N4+N14+N2+N2)。 キャラクタは「セパレータキャラクタの設定」で設定します。

付録D (続き) GS1データ編集設定 (続き)

D-2 GS1 編集設定メニュー (続き)

<p>GS1ERF0.</p>  <p>*FNC1 置換しない (FNC1 をそのまま送信する)</p>	<p>GS1ERF1.</p>  <p>FNC1 置換する (この設定のみは FNC1 を削除する)</p>	<p>区切り文字 FNC1 を置換しないか置換するかの設定です。 FNC1 の置換キャラクタは別途設定します。</p> <p>メモ 「FNC1 置換する」を読み取っただけのとき、FNC1 を削除します。</p>
<p>GS1ADP0.</p>  <p>*AI に小数点を付けない</p>	<p>GS1ADP1.</p>  <p>AI に小数点を付ける</p>	<p>小数点を定義した AI に小数点を追加します。</p> <p>例 AI 3102 は重量 Kg です。(N4+N6)。小数第 2 位まで表示します。(3102)123456→(3102)1234.56</p>
<p>GS1ESO0.</p>  <p>*フィルタとソート設定 禁止(オフ)</p>	<p>GS1ESO1.</p>  <p>フィルタとソート設定 許可(オン)</p>	<p>フィルタとソートの設定を禁止にするか許可にするかの設定です。 禁止はオフになります 許可はオンになります</p>
<p>GS1PRE0.</p>  <p>*AI プリフィックス 禁止(オフ)</p>	<p>GS1PRE1.</p>  <p>AI プリフィックス 許可(オン)</p>	<p>AI のプリフィックスを送信しないか送信するかの設定です。 禁止(オフ)は送信しません 許可(オン)は送信します</p>
<p>GS1SUF0.</p>  <p>*AI サフィックス 禁止(オフ)</p>	<p>GS1SUF1.</p>  <p>AI サフィックス 許可(オン)</p>	<p>AI のサフィックスを送信しないか送信するかの設定です。 禁止(オフ)は送信しません 許可(オン)は送信します</p>
<p>GS1RFN.</p>  <p>FNC1 置換キャラクタの設定</p>		<p>区切り文字 FNC1 の置換キャラクタを設定します。12 キャラクタまで設定できます。Unicode で設定します。</p>
<p>GS1SEP.</p>  <p>セパレータキャラクタの設定</p>		<p>複数の項目を含む AI のデータを項目ごとに区切るセパレータのキャラクタを設定します。12 キャラクタまで設定できます。Unicode で設定します。</p>
<p>GS1REV?.</p>  <p>GS1 Specification バージョン情報を送信</p>		<p>読み取るとスキャナのファームウェアが対応する GS1 Specification のバージョン情報をホストに表示します。 GS1REV: 17.0.1 と送信します。</p>

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-3 AIごとのプリフィックス/サフィックスの設定

AI のデータフィールドごとにプリフィックス/サフィックスを追加する設定を説明します。プリフィックス/サフィックスの位置は次の例を参照して下さい。Prefix : プリフィックス、Suffix : サフィックス。

例

ラベル印字 (01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234

データ 012451234567890017181200<FNC1>301010A1234

Prefix/Suffix の位置 ※AI のカッコ()を付ける設定をしたとき

(01) Prefix 24512345678900 Suffix (17) Prefix 181200 Suffix <FNC1> (30) Prefix 10 Suffix (10) Prefix A1234 Suffix

手順 1 : AI を設定します。

下記の設定メニュー「Set AI 0～Set AI 9」に AI を割り当てて下さい。

設定方法

- 1) Set AI x を読み取る (x は 0...9)
- 2) 付録 G 「英数メニュー」から AI の数字を読み取る (先頭の 0 は不要です。AI が 01 なら 1 を読みます)
- 3) 保存を読み取る

例 「Set AI 0」に AI 01 を設定する : Set AI 0→(英数メニュー)1→保存

AI の設定 (AI プリフィックス/AI サフィックス用)

GS1AI0.



Set AI 0

GS1AI2



Set AI 2

GS1AI4.



Set AI 4

GS1AI1.



Set AI 1

GS1AI3.



Set AI 3

GS1AI5.



Set AI 5

GS1AI7.



Set AI 7

GS1AI9.



Set AI 9

GS1AI6.



Set AI 6

GS1AI8.



Set AI 8

GS1AI09,AI19,AI29,AI39,AI49,AI59,AI69,AI79,AI89,AI99.



すべての AI 設定を削除

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-3（続き）

手順 2：プリフィックス/サフィックスを設定します。





















下記の設定メニュー「Set AI prefix 0～Set AI suffix 9」にプリフィックスとサフィックスを設定して下さい。設定メニューの番号は手順 1 で設定した「Set AI」の番号に対応します。例えば、Set AI3 に設定した AI に対してプリフィックス/サフィックスを追加するなら Set AI prefix 3、Set AI suffix 3 を設定します。

設定方法

- 1) Set AI prefix x 又は Set AI suffix x を読み取る（x は 0...9）
- 2) 付録 G 「英数メニュー」からキャラクタを表す Unicode 4 桁を読み取る（最大 12 キャラクタ）
- 3) 保存を読み取る

メモ 別途、D-2 「AI プリフィックス 許可(オン)」 「AI サフィックス 許可(オン)」を設定して下さい。

AI プリフィックス/AI サフィックスの設定

GS1PR0.  Set AI prefix 0	GS1PR1.  Set AI prefix 1	GS1PR2.  Set AI prefix 2	GS1PR3.  Set AI prefix 3	GS1PR4.  Set AI prefix 4
GS1PR5.  Set AI prefix 5	GS1PR6.  Set AI prefix 6	GS1PR7.  Set AI prefix 7	GS1PR8.  Set AI prefix 8	GS1PR9.  Set AI prefix 9
GS1SU0.  Set AI suffix 0	GS1SU1.  Set AI suffix 1	GS1SU2.  Set AI suffix 2	GS1SU3.  Set AI suffix 3	GS1SU4.  Set AI suffix 4
GS1SU5.  Set AI suffix 5	GS1SU6.  Set AI suffix 6	GS1SU7.  Set AI suffix 7	GS1SU8.  Set AI suffix 8	GS1SU9.  Set AI suffix 9

GS1SU0,SU1,SU3,SU4,SU5,SU6,SU7,SU8,SU9,PR0,PR1,PR2,PR3,PR4,PR5,PR6,PR7,PR8,PR9.



すべての AI プリフィックス/AI サフィックスを削除

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-4 フィルタとソート設定

AIごとにフィルタとソート（抽出と並び替え）をかける設定を説明します。下記の設定メニュー「Set AI sort 0～9」はAIのフィルタとソートを設定します。また、設定したAIとそのデータフィールドのみをフィルタ（抽出）して送信します。設定メニューの番号はソート（並び替え）の順序でもあります。若い番号の順序（0から9）で送信します。例えばSet AI sort 0にAI 10を、Set AI sort 1にAI 17を、Set AI sort 2にAI 01を設定すると、どんなGS1を読み取ってもAI 10、AI 17、AI 01の順で送信します。なおかつ、他のAIデータは送信しません。

設定方法

- 1) Set AI sort xを読み取る（xは0...9）
- 2) 付録G「英数メニュー」からAIの数字を読み取る（先頭の0は不要です。AIが01なら1を読みます）
- 3) 保存を読み取る

メモ 別途、D-2「フィルタとソート設定 許可(オン)」を設定して下さい。

AIの設定（フィルタとソート設定用）

GS1SO0.



Set AI sort 0

GS1SO2



Set AI sort 2

GS1SO4.



Set AI sort 4

GS1SO1.



Set AI sort 1

GS1SO3.



Set AI sort 3

GS1SO5.



Set AI v5

GS1SO7.



Set AI sort 7

GS1SO9.



Set AI sort 9

GS1SO6.



Set AI sort 6

GS1SO8.



Set AI sort 8

GS1SO09,SO19,SO29,SO39,SO49,SO59,SO69,SO79,SO89,SO99.



すべてのAIフィルタとソート設定を削除

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-5 キーボードインターフェースのキー押下設定

キャラクタを設定する設定はキー押下を設定できます。（USBHID キーボードインターフェースのとき）

(1) 設定方法

ア) 設定メニューでの設定方法

GS1 データ編集設定メニュー（FNC1 置換キャラクタなど）を読み取ります。次に、付録 G 「英数メニュー」からキー押下を定義する特別な Unicode 設定値を読み取り、変更キーの HEX（2 桁）とキーナンバーの HEX（2 桁）を読み取り、保存を読み取ります。

イ) シリアルプログラミングコマンドでの設定方法（コマンドの順序）

GS1 データ編集メニューコマンド キー押下を設定する特別な Unicode 設定値 変更キーの HEX（2 桁）とキーナンバーの HEX（2 桁）。

(2) キー押下の設定値

ア) キー押下を設定する特別な Unicode 設定値（4 桁の値）

WEGDE_ESCAPE_CHARACTER F001
SUB_KEY_NUMBER F003

イ) 変更キーの HEX ※0x00 などの 0x の表記は省略しています。

無し 00
ShiftLeft 01
ShifRight 02
AltLeft 04
AltRight 08
CtrlLeft 10
CtrlRight 20

メモ 変更キー（modifier key）の押下が無い場合、変更キーの HEX は 00 です。

メモ 変更キーは組み合わせられます。ShitLeft+CtrlLeft 11

ウ) キーナンバーの HEX

付録 E Unicode キーナンバーを参照して確認してください。

例 FNC1 置換キャラクタにテンキーパッドの Enter を設定する（スペースは単に見やすくするためにあります）

設定メニュー：

FNC1 置換キャラクタのメニュー（GS1RFN.）を読み取る→付録 G 「英数メニュー」から F001 F003 006C→保存を読み取る

メモ テンキーパッドのキーナンバーの HEX は 6C です（Unicode キーナンバーを参照）

シリアルプログラミングコマンド：

GS1RFNF001F003006C.

メモ シリアルコマンドは先頭に SYN M CR を付けてください

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-5 キーボードインターフェースのキー押下設定（続き）

(3) その他

Enter と Tab のキー押下はキャラクタの Unicode（4 桁の値）を設定することでも動作します。

ただし Control+X モードオフ、制御文字送信許可（初期設定）の場合です。

Enter 000D（制御文字 CR）

Tab 0009（制御文字 HT）

例 FNC1 置換キャラクタに Tab を設定する（スペースは単に見やすくするためにあります）

設定メニュー：

FNC1 置換キャラクタのメニュー（GS1RFN.）を読み取る→付録 G「英数メニュー」から 0009 を読み取る→保存を読み取る

シリアルプログラミングコマンド：

GS1RFN0009.

メモ シリアルコマンドは先頭に SYN M CR を付けてください

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-6 設定例

(1) GS1 の AI をカッコ()付きで送信する

設定メニュー

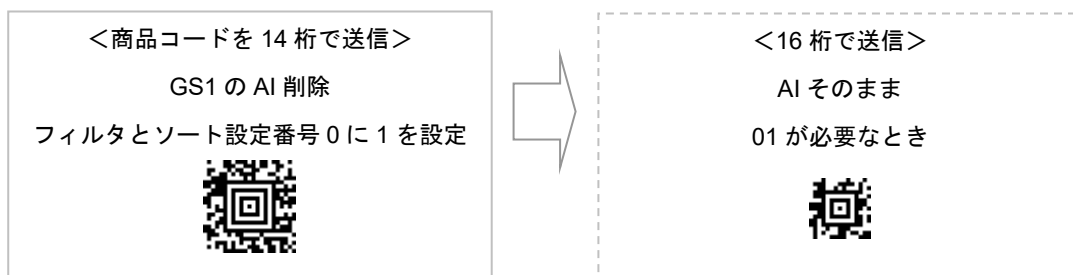


メモ

- ・ 日本キーボード配列：Windows 日本語版でカッコを正しく入力するために設定します。
- ・ GS1 の AI をカッコ()付きで送信する：GS1 データ編集設定を 1 つにまとめたメニューです。
コマンド：GS1DFT,FMT1,PAR1,ERF1.
内容：GS1 設定初期化、GS1 編集許可、AI にカッコ()を付ける、FNC1 置換する（=FNC1 削除）
※ USBHID キーボードインターフェースのとき、FNC1 を HEX の 1D と解釈し、1D は F8 キーとして送信します。そのため余計なキーを送信ないように FNC1 を削除します。
- ※ この内容の設定メニューを 1 個ずつ読み取ることで設定できます。
- ・ GS1 合成シンボル、GS1 データバー標準型、GS1 データバー限定型 読取許可：合成シンボルを読み取るなら設定します。（第 14 章の各シンボルを 1 つにまとめた 2D 版設定メニュー）
※ GS1 合成シンボルと 3 桁の NW7 を読む運用事例がある為、NW7 最小読取桁数 2 桁の設定も入れています。
- ・ 改行する：通常のスフィックスの設定です（第 12 章 すべてのシンボルに CR サフィックスを追加の 2D 版設定メニュー）

(2) GS1 の商品コード 14 桁のみを送信する（または AI の 01 を付けて 16 桁で送信する）

設定メニュー



コマンド：GS1DFT,FMT1,RAI1,ESO1,SO01.

内容：GS1 設定初期化、GS1 編集許可、AI 削除する、フィルタとソート設定許可、AI の設定（フィルタとソート設定用）の設定番号 0 に AI の 1 を設定（※AI の設定は先頭の 0 が不要なため 01 なら 1 を設定します）

メモ AI の 01 が必要な隣「AI そのまま」を読み取って下さい

メモ 商品コードを 14 桁で送信すべきか 16 桁で送信すべきかは、ご使用のソフトによります。

付録D GS1データ編集設定（続き）

D-6 設定例（続き）

(3) 医療用医薬品、医療機器のGS1をAIごとにタブ区切りで送信する(AIは削除)

設定メニュー



メモ

- ・ GS1のAIをタブ区切りで送信する：GS1データ編集設定と、第13章データフォーマット設定を1つにまとめたメニューです。
- ・ この設定例が対応するAIは01、10、11、17、21、30、91、92、7003です。医療機器分野では設定例に無いAIが使用されている可能性があります。対応するにはそのAIを設定する必要があります。

一括設定の内容：

GSデータバー読取許可、GS1データバー限定型読取許可、合成シンボル読取許可、NW7最小読取桁数2桁、GS1データ編集初期化、GS1編集許可、AI削除する、FNC1削除、Set AI0=01※設定値1、Set AI1=10、Set AI2=11、Set AI3=17、Set AI4=21、Set AI5=30、Set AI6=91、Set AI7=92、Set AI8=7003、AIサフィックス0~8=0009(Tab)、データフォーマット初期化、データフォーマットはGS1-128、GSデータバー、GS1データバー限定型(合成シンボル)の最終桁削除

※最終桁削除は最後に出力するAIサフィックス(Tab)削除の為

コマンド：

```
RSSENA1;RSLENA1;COMENA1;CBRMIN2;GS1DFT,FMT1,RAI1,ERF1,SUF1,AI01,AI110,AI211,AI317,AI421,AI530,AI691,AI792,AI87003,SU00009,SU10009,SU20009,SU30009,SU40009,SU50009,SU60009,SU70009,SU80009;DFMDF3,BK30099499999E901,BK30099799999E901,BK300997B9999E901.
```

メモ この設定例を削除するには次のメニューを読み取って下さい。



※その他の設定（インターフェース設定、GSデータバー読取許可、GS1データバー限定型読取許可、NW7最小読取桁数2桁の設定）は残っています。すべての設定を初期化するには第9章9-3初期設定を読み取って下さい。

付録E Unicodeキーナンバー

6E	70 71 72 73	74 75 76 77	78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
	01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F			4B 50 55	5A 5F 64 69
	10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D			4C 51 56	5B 60 65 6A
	1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2B				5C 61 66 6C
	2C 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39			53	5D 62 67 6C
3A 3B 3C	3D	3E 3F	38 40	4F 54 59	63 68

104 キー U.S スタイルキーボード

6E	70 71 72 73	74 75 76 77	78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
	01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F			4B 50 55	5A 5F 64 69
	10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 2B			4C 51 56	5B 60 65 6A
	1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A				5C 61 66 6C
	2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39			53	5D 62 67 6C
3A 3B 3C	3D	3E 3F	38 40	4F 54 59	63 68

105 キー ヨーロッパスタイルキーボード

付録F サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E(UPC-E0)



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF)



14512345678903

Codabar / NW7



A1234567890A

※出荷時、最小読取桁数読は 桁※設定可能な最小読取桁数は 桁

Code 128



Code 128-567890

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録F サンプルバーコード (続き)

GS1-128



(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234

GS1 データバー限定型



(01)04512345678906

GS1 データバー限定型合成シンボル CC-A

(17)181200(10)A1234



(01)14512345678903

QR コード



データ : 1234567890ABCDEfghij

Data Matrix (ECC200)



データ : Data Matrix ECC200

PDF417



データ : PDF417 sample code

2次元郵便コード 日本郵便



データ : 23000514-36-1

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録G 英数メニュー (0~9、A~F)



中止



保存